

# 四街道市総合計画後期基本計画策定



ドラマチック四街道プロジェクトのナビゲーターよつぼくん

## 市民会議のしおり

みんなで**考えよう**

私たちの**未来を**・・

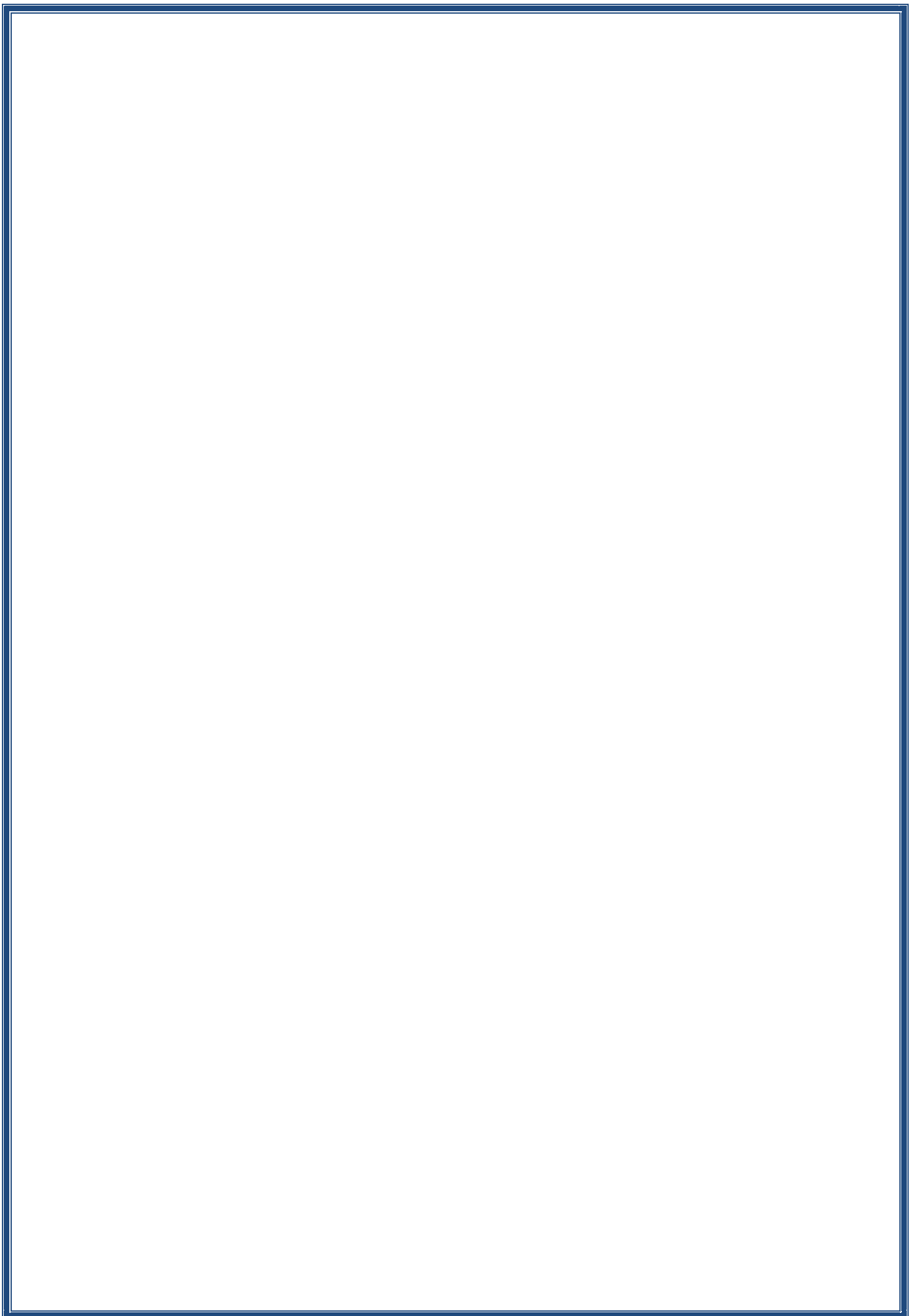
つなげよう**次世代に!**

みんなが**主役**のまちづくり



平成 29 年 10 月  
四街道市 政策推進課





# 目次



1	市民会議について	- 1 -
1-1	市民会議の設置目的	- 1 -
1-2	市民会議の役割とテーマ	- 2 -
(1)	市民会議の役割	- 2 -
(2)	市民会議のテーマ	- 2 -
1-3	市民会議のアウトプット	- 3 -
2	市民会議の進め方	- 4 -
2-1	市民会議の概要	- 4 -
(1)	開催回数	- 4 -
(2)	班編成	- 4 -
(3)	検討スケジュール	- 4 -
(4)	市民インタビューについて	- 5 -
2-2	会議の進め方	- 6 -
(1)	ワークショップ形式について	- 6 -
(2)	会議での役割分担等	- 6 -
(3)	会議の進め方	- 7 -
2-3	市民会議のルール	- 8 -
(1)	会議への参加	- 8 -
(2)	会議での心構え	- 8 -
(3)	会議内容の取扱い	- 8 -
3	市民会議の検討のイメージ	- 4 -
3-1	若者が住みやすくなる・Uターンしたくなるまちづくりのための取組	- 9 -
(1)	身近でこのような状況が発生する可能性があります	- 9 -
(2)	若者が住みやすくなるための取組の検討イメージについて	- 9 -
3-2	子育てしやすい環境づくりのための取組	- 10 -
(1)	身近でこのような状況が発生する可能性があります	- 10 -
(2)	子育てしやすい環境づくりのための取組の検討イメージについて	- 10 -
3-3	中高年世代が安心して暮らせる地域づくりのための取組	- 11 -
(1)	身近でこのような状況が発生する可能性があります	- 11 -
(2)	このような夫婦が住み続けるための取組の検討イメージについて	- 11 -
4	市民会議にあたっての情報提供	- 12 -
4-1	四街道市の現状	- 12 -
(1)	人口の推移	- 12 -
(2)	将来人口の見通し	- 14 -
(3)	出生・結婚・死亡	- 15 -
(4)	転入・転出	- 18 -
(5)	通勤・通学	- 23 -
(6)	財政状況	- 25 -

4-2 市民ニーズの傾向.....	- 27 -
(1) 市民意識（住みよさ・定住意識）.....	- 27 -
(2) 市民意識（施策に関する現在の満足度、今後の重要度）.....	- 30 -
(3) 結婚・出産・子育てについて.....	- 34 -
(4) 定住について.....	- 38 -
(5) 転入者について.....	- 41 -
(6) 転出者について.....	- 43 -



# はじめに



四街道市総合計画後期基本計画策定に係る「市民会議」にご参加頂き、誠にありがとうございます。

さて、市では平成 30 年度中の後期基本計画の策定に向け、現在、前期基本計画の進捗状況や市の現状分析、市民意識調査など市民ニーズや課題把握に努めながら策定作業を進めております。

この策定過程において、市民が主体的にまちづくりに関わって頂き、市民の皆様のご意見を計画に活かしていくため、四街道市市民参加条例に基づく「市民会議手続」として、本市民会議を設置いたしました。

詳細につきましては、この冊子に市民会議の目的やルール、そして市民会議を円滑に進めていただくために事前にお伝えしたい内容を「しおり」としてまとめていますので、大変お手数ですが、事前にお読み頂き、市民会議へご参加されますよう、よろしくお願いいたします。

また、その他の参考資料としまして、市の各種制度等を掲載したガイドブック等もご用意しておりますので、こちらも併せてご参考にお使いください。

なお、市民会議の運営につきましては、円滑な進行を行うため、次の事業者に運営全般を委託しておりますので、あらかじめご了承ください。

## 【運営委託事業者】

株式会社 シオ政策経営研究所（緑色の名札を付けています）

## 【担当部署 お問い合わせ先】

四街道市経営企画部政策推進課 企画調整グループ（青色の名札を付けています）

電話：043-421-6161 FAX:043-424-8920

Eメールアドレス：[yseisaku@city.yotsukaido.chiba.jp](mailto:yseisaku@city.yotsukaido.chiba.jp)

氏名	テーマ（班）
----	--------

## <班員名簿>

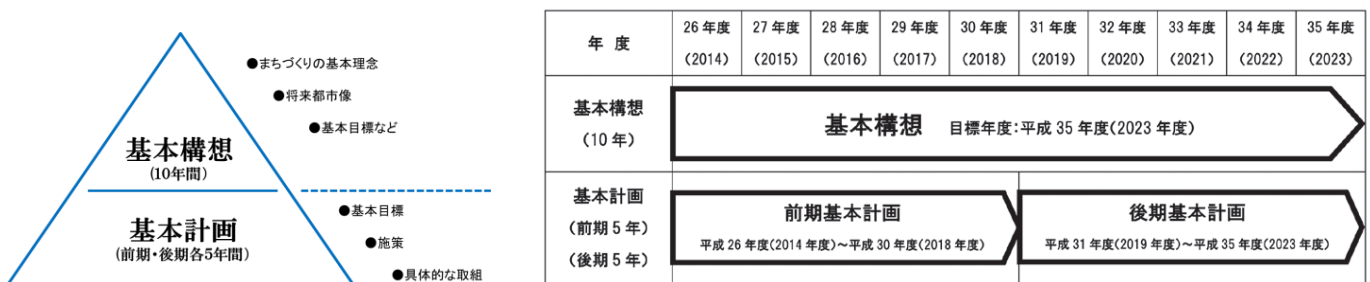

個人メモ

# 1 市民会議について

## 1-1 市民会議の設置目的

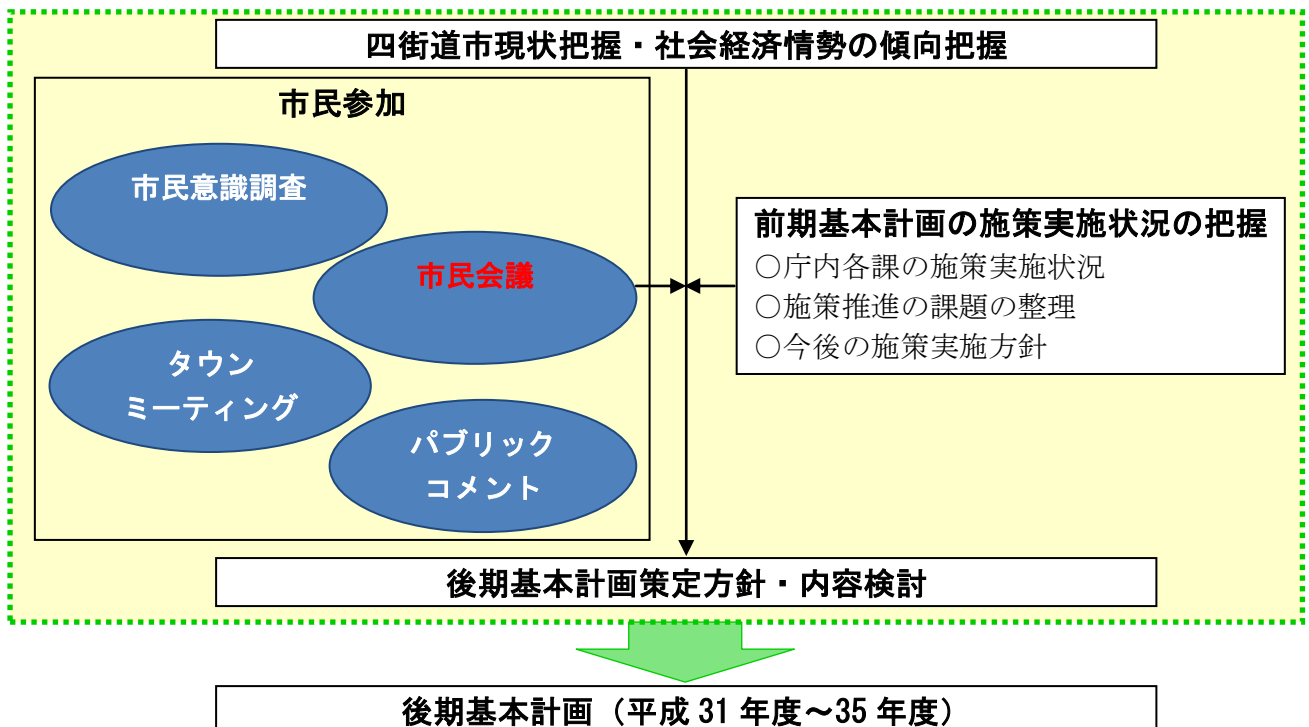
「四街道市総合計画」は、四街道市の行政運営を総合的かつ計画的に推進していくための最上位の計画です。この総合計画は、平成26年度から平成35年度までの10年間を計画期間とする長期的な展望に立った市の基本理念や将来都市像などを示す「基本構想」と、前期、後期の各5年を計画期間とし基本構想に基づき各部門別の具体的な施策を体系的に定める「基本計画」で構成されます。このうちの「前期基本計画」が平成30年度で終了することから、市では、平成31年度から平成35年度を計画期間とする「後期基本計画」の策定作業を進めています。

図一 総合計画の体系と計画期間



この後期基本計画の策定過程においては、計画をより良いものにするため、策定段階から市民の皆様にご参加頂き、市民の皆様の視点から魅力あるまちづくりのためのアイデアや日常に感じている四街道への思いを計画に活かしていくことを目的として、「四街道市市民参加条例」に基づく、「市民会議」を設置しました。

図一 後期基本計画策定の取組と市民会議の位置づけ



## 1-2 市民会議の役割とテーマ

### (1) 市民会議の役割

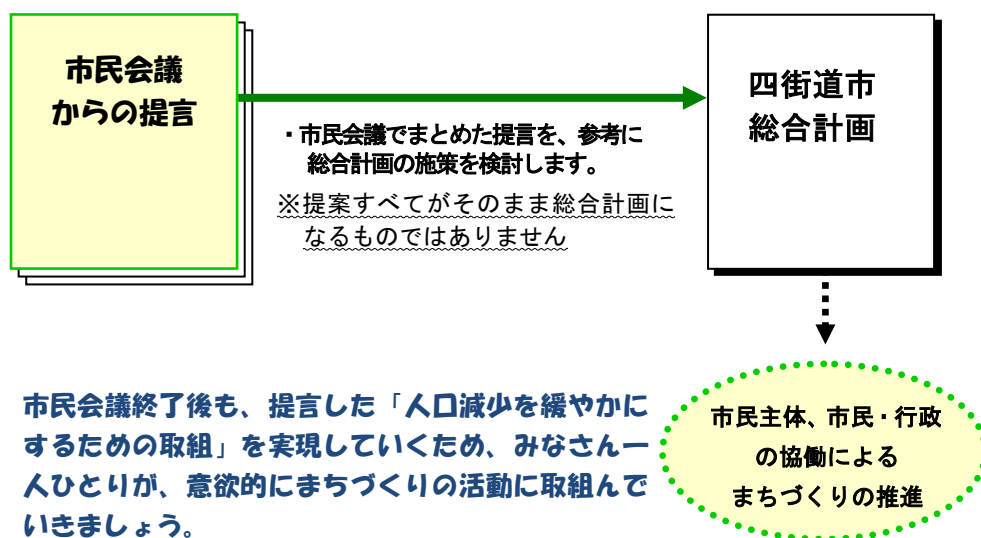
市民会議に期待される役割は、次のようなものとなります。

- 下記の「市民会議のテーマ」について、市民の皆様が感じているまちの現状や問題点などを提示して頂き、かつ、皆様が理想とするまちとしていくための具体的な対応策や取組内容、役割分担等を検討して頂きます。

※不平や不満、市への要望を述べる場ではありません。

- 「市民会議のテーマ」に沿ってグループ毎に意見を出し合い、話し合った内容を取りまとめ、第5回目の市民会議で市への提言として発表します。

※個人の主張だけでなく、グループとして提案をまとめます。



### (2) 市民会議のテーマ

四街道市の人口は、平成 29 年 1 月 1 日現在 90,144 人（常住人口）で、増加傾向を維持しており、これまで四街道市は人口減少というものを経験しておりません。

四街道市総合計画（基本構想）の将来フレームでは、平成 35 年度に 93,000 人を目標としております。しかしながら、日本全体の人口減少に伴い、今後、四街道市でも将来的には人口減少に転じる可能性があることから、市の活力を維持し、高めていくためには、人口減少を緩やかにし、人口構成の不均衡に対応する取組が喫緊の課題となっています。

人口は、出生と死亡、市への転入と市からの転出により変動しています。人口減少を緩やかにし、人口構成の不均衡に対応するためには、行政と市民の皆様とともに、四街道市をさらに魅力的なまちにする取組が必要と考えています。

そこで、お集りの市民の皆様は、人口減少を緩やかにし、人口構成の不均衡に対応する取組として、以下の3つのテーマに分かれて、それぞれのテーマごとに議論をして頂き、取組に対する提言書を取りまとめて頂きます。

テーマ1	○若者が住みやすくなる・Uターンしたくなるまちづくりについて
テーマ2	○子育てしやすい環境づくりについて
テーマ3	○中高年世代が安心して暮らせる地域づくりについて

# 1-3 市民会議のアウトプット

市民会議では、四街道市に対する提言書を作成して頂きます。

この提言書は、それぞれの班ごとにまとめます。

提言書の内容は、現状や問題点、課題に対する対応策、対応策に関する具体的な取組内容、そして、行政、市民、市民団体・事業所のそれぞれの役割について話し合いをして頂き、提言書をまとめます。

図一 提言書のイメージ

①テーマに即した現状や問題点について、まとめます。

**Aグループ 四街道市の「子育て」に関する強み・弱み**

**弱み**

- 保育所不足で若い夫婦が住みづらい**
  - 3歳児以下の保育所の定員が不足している。
  - 保育所入所待ち児童が多く存在する。
  - 市立の保育園が少ない。
- 子育て支援情報が不足している**
  - 子育て日本一のスローガンは知っているが、具体的にどんな事が進んでいるか伝わってこない。
  - 学童保育が何年生まで、どのような活動をしているのかなど、活動状況が伝わっていない。
  - 子育てボランティア活動実績のアピールが弱い。
- 公的、継続的支援が弱い**
  - 子育てで家族への支援が弱い。
  - 子育てボランティア組織との連携が弱い。

10

②現状の問題点を解決するための対応策を検討し提言します。

**Aグループ 「子育て」に関する課題への対応策**

**対応策**

子育て支援  
(就学前の子ども向け・小中学生向け)

- よつかいどう子育てオリジナルプログラムの構築と情報発信**
  - 「日本一」とはいかなくとも、「四街道ならではの」仕組みを構築する。
  - 子育て情報発信を強化する。
  - 子育ての不安を軽減し、先の見通せる子育てとなるよう、プログラムを一括して提示する。
- 心をほぐす居場所づくり「ほっとルーム」開設**
  - 子育てのプラスとなるよう、年齢を越えた地域の交流を促進する。
  - 放課後や休日の子どもの居場所づくりを進める。
  - 地域住民の有志で管理・運営する。

12

③対応策に関する、具体的な取組内容を提言します。

**Aグループ 「子育て」の対応策と具体的な取組内容①**

**対応策** 子育て支援（就学前の子ども向け）

**具体的取組名** よつかいどう子育てオリジナルプログラムの構築と情報発信

**具体的内容**

- 妊娠、出産を経て、小学校に上がるまで、どのようなサービス提供が行われているのか一覧となるものを作成し、母親が子育て中に安心できる体制が四街道にはあることをPRする。
- 悩んだとき、迷ったときに相談できる場や、同年齢の子を持つお母さんと会える場所を定期的で開催し（毎月〇日など）、定例化することで周知し、存在感を高める。
- 小さい子を育てるための母親教室を開設する。

13

④対応策の取組について、市民、市民団体・事業者と市の役割分担について提言します。

**Aグループ 「子育て」に関する具体的な取組内容①**

**市民の役割**

- (子育て支援団体等) 子育てに役立つ情報を整理・提供する。
- (市民) 子育て支援メルマガへ登録し、積極的に利用する。

**市の役割**

- 子育て情報誌「すくすく」のPDF化とHPへ掲載する。
- 過去に作成した情報ツールの洗い出し（市民団体作成分含む）とデータ化、HPへ掲載する。
- メールマガジンを発信する（よめーる方式の応用）。

**実現するために必要なこと**

- ITを有効活用する（SNS等の活用も検討する）。
- 将来的には交流会も実施し、定期的な仲間づくりも促進していく。

14



## 2 市民会議の進め方

### 2-1 市民会議の概要

#### (1) 開催回数

- 会議は四街道市役所にて行います。
- 市民会議は全5回開催します。
- 全5回の市民会議内において、提言書を取りまとめ、四街道市へ提言します。
- 開催曜日は、原則として水曜日とし、1回あたりの開催時間は、2時間程度（18時30分～20時30分）を予定しています。



#### (2) 班編成

- 市民会議では、3つのテーマを設けており、テーマごとに班編成を行い、議論をして頂きます。
- 班編成は、第1回会議において、くじ引きにより行います。
- 班編成は、年代ごとの偏りが無いよう年代別にくじ引きを行います。

#### (3) 検討スケジュール

会 議	開催予定日	検討内容
第1回	10月18日(水) 18時30分～	<ul style="list-style-type: none"><li>• 会議の趣旨説明を行います。</li><li>• その後、班編成を行い、班ごとにしリーダー、司会、書記、発表者を選出し、それぞれの班のテーマに即して、現状と課題に関しての意見交換を行います。</li><li>• インタビュー内容を決めます。インタビュー内容は、各テーマに関連した現状での問題点と支援要請等をお聞きします。</li></ul>
第2回	10月29日(日) 10時～	<ul style="list-style-type: none"><li>• 班ごとに市民インタビューを行います。</li><li>• 市民インタビューは、調査票を用意し、調査票に記載していただく方法で実施します。原則として1対1でのインタビューを実施します。調査結果については、市民会議の提言書の参考資料として使用します。</li><li>• インタビュー終了後に記念撮影をします。</li></ul>
第3回	11月15日(水) 18時30分～	<ul style="list-style-type: none"><li>• 市民インタビュー結果を踏まえて、各テーマ(目標)実現のための取組(市の支援、市民・団体等の取組)についてとりまとめを行います。</li></ul>
第4回	11月29日(水) 18時30分～	<ul style="list-style-type: none"><li>• 課題を解決するための対応策について検討し、提言のとりまとめを行います。</li></ul>
第5回	12月5日(火) 18時30分～	<ul style="list-style-type: none"><li>• 市民会議としての提言書のとりまとめ・確認を行います。</li><li>• 各班から提出された提言書は委託事業者がパワーポイントとしてまとめ、第6回会議で発表します。</li></ul>
第6回	12月17日(日) 10時～	<ul style="list-style-type: none"><li>• 市長に対し、提言書を提出します。(発表)</li><li>• 最後に市長と記念撮影を行います。</li></ul>

#### (4) 市民インタビューについて

第2回会議では、より多くの市民の皆様の意見を反映した提言書とするために、各テーマの対象となる市民の方に集まって頂き、市民会議の班ごとにインタビューを予定しています。

質問内容は、下記の内容を想定していますが、これをベースに班ごと質問内容を検討します。

市民インタビューの人数は、各班 10 名前後を予定しており、原則として 1 対 1 でのインタビューを実施します。(30 分程度)

なお、この調査結果については、提言書を作成するための参考資料として使用します。

#### 図一市民インタビューの開催イメージ



#### <設問項目案>

##### ■テーマ1：若者が住みやすくなる・Uターンしたくなるまちづくり

- インタビューを受けた方について（居住地・年齢・婚姻・同居家族）
- 四街道市の住みやすいところ・住みにくいところ
- 定住意向
- 転出希望者の転出するライフステージ・理由
- 住みやすくなるための条件
- 転出後、Uターンするための条件

##### ■テーマ2：子育てしやすい環境づくり

- インタビューを受けた方について（居住地・年齢・婚姻・同居家族）
- 四街道市の子育て環境について（良いところ・悪いところ）
- 定住意向
- 転出希望者の転出するライフステージ・理由
- 子育てしやすいまちになるための条件

##### ■テーマ3：中高年世代が安心して暮らせる地域づくり

- インタビューを受けた方について（居住地・年齢・婚姻・同居家族）
- 四街道市の住みやすいところ・住みにくいところ
- 定住意向
- 子ども等との同居について・同居の条件
- 中高年世代が安心して暮らすための条件

## 2-2 会議の進め方

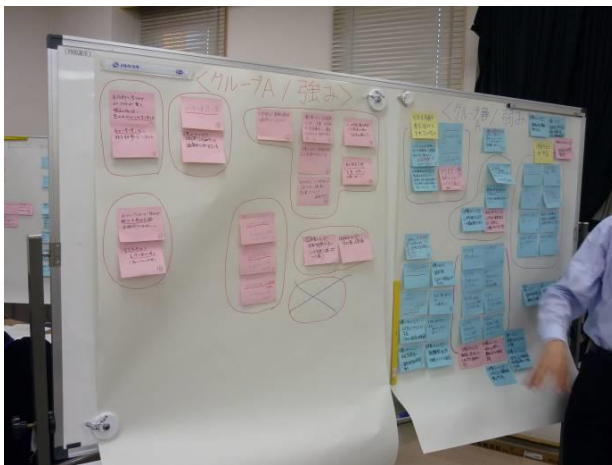
### (1) ワークショップ形式について

- 「ワークショップ」とは、アイデアを出し合い意思決定をする集まりで、会議の一種です。しかし、“会議”といっても、通常の堅苦しい会議ではありません。
- わかりやすく言うと、ゲーム的な要素を取り入れ、居間でくつろぐような雰囲気を楽しみながら会議をすることであり、こうした雰囲気の中で、参加者が自由に意見やアイデアを出し、話し合いながら、成果を参加者自身でまとめあげていく検討方法が「ワークショップ」です。

### ワークショップって、こんな感じ・・・

グループ検討では、ポストイットを使った「意見カード」を作ることで個人意見を吸い上げ、KJ法\*やシールゲーム\*等の手法を用いて意見を集約します。

意見カードを模造紙に貼り、わかりやすく整理します。各回の最後には、模造紙を使って参加者全員で検討した内容を発表しあいます。



- \*KJ法：類似する意見をグループ化しながら一つの方向性を導き出す方法。
- \*シールゲーム：シールを使った投票を行い優先順位決定する方法。

### (2) 会議での役割分担等

- 市民会議にご参加の全ての皆様の協力で提言書を取りまとめて頂くため、ご参加の方には、会議の運営に必要な以下の役割のいずれかを担って頂きます。
  - ★リーダー1名（班全体の調整役・進行役を担って頂きます。）
  - ★司会1名（会議の進行役を担って頂きます。）
  - ★書記2名（会議で出された意見を書き留めて頂きます。）
    - ※個人の負担を少なくするため、会議毎に司会、書記を新たに選出します。
  - ★提言書の発表者2名（第6回会議に提言書の内容を発表して頂きます。）
- リーダー、司会、書記、発表者には、委託事業者（緑色の名札）が、その役割に応じたサポートをします。

### (3) 会議の進め方

第1回会議で行う、班のテーマに関する現状と課題についての意見交換の進め方を示します。

#### ■ 現状についての意見交換の進め方（例）

- 意見交換には、カードを使います。カードにご自分のお名前と意見を記入して頂き、テーブルに用意する作業シートのうえに貼り付けていきます。
- 各班のテーマを踏まえ、「取組の分野」「現状（良い点、悪い点）」の枠を示した作業シートを用意します（図1）。

図1

	現状（良い点）	現状（悪い点）	現状（その他）
福祉			
教育			
：			

- ある程度、意見が出つくしたら、「良い点」「悪い点」の同じあるいは類似のものを揃えてグループ핑します。そして、グループごとに線で囲み、グループの見出しをつけます。
- 最後に「良い点」「悪い点」を箇条書で書き出し、班のテーマに関する現状として整理します。（図2）

図2

	現状（良い点）	現状（悪い点）	現状（その他）
福祉			
教育			
：			

## 2-3 市民会議のルール

### (1) 会議への参加

市民会議は、参加された市民の皆様の意見をとりとまとめ、提言書として取りまとめて頂く会議です。

参加者の方には、お忙しい中、貴重なお時間を頂いて申し訳ありませんが、全 6 回の会議へのご参加をお願いいたします。

※どうしても、ご都合がつかない場合は、四街道市政策推進課までお申し出ください。

※本会議は、無報酬となります。



### (2) 会議での心構え

市民会議は、次の心構えを持って、楽しく会議を行いましょう。

○難しく考えずに、普段のままで、「自分の言葉」で語ってみましょう。

○限られた時間の中、各メンバーができるだけ多く発言できるように発言時間が長くならいよう配慮しましょう。

○参加者それぞれが公平な立場で自由な発言を行い、それぞれの発言を最大限に尊重するため、他人の意見を「否定」しないようにしましょう。

○ほかの参加者の意見は「否定」するのではなく、発展させるような+αの意見を出してみてください。

○意見は質よりも量を重視しましょう。突飛な意見や個人的に重要でないと思われる意見も、全て思いついたことは列挙することが大切です。

○まちの個性やイメージは、まちづくりにとても大切な要素です。感じたままを素直に表現してみましょう。

○楽しく、和気あいあいと。しかし、時間には限りがあります。手と頭をフル活用して。

### (3) 会議内容の取扱い

会議内容には、個人情報が含まれます。個人情報は、保護の重要性を十分認識し、メンバーの利益を害することのないよう努めましょう。

また、会議終了後でも、会議内容の取扱いについては、十分に注意しましょう。(いたずらにブログ、SNS 等への不適切な書き込みなどは避けてください。)



**楽しく、和気あいあいと！**

**カフェのようにくつろいで！**

### 3 市民会議での検討のイメージ

#### 3-1 若者が住みやすくなる・Uターンしたくなるまちづくりのための取組

##### (1) 身近でこのような状況が発生する可能性があります

###### ■想定されるケース（市で生まれた若者のライフスタイルについて）

・四街道市で生まれ、小中高校を過ごした若者には、次の人生の選択肢があります。

- ①大学進学や就職を機に、一人暮らしのために転出する若者がいます。
- ②親元から就職していた若者が、結婚を機に転出する若者がいます。

###### ■想定されるケース（市外で生まれた若者のライフスタイルについて）

・市外で生まれた若者には、本市を知る機会や住む機会として、次の可能性があります。

- ①四街道市に通勤又は通学し、本市を知る機会があります。
- ②結婚を機に、四街道市に住んでみようとする若者がいます。

##### (2) 若者が住みやすくなるための取組の検討イメージについて

市民会議での検討の流れの一例として、下記のような流れを想定しています。

##### ① 一人暮らしや新婚生活を過ごすまちとしての現状と問題点について（第1回）

・上記のような若者になったつもりで、市の現状や問題点を洗い出します。

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| ●地元で働くための雇用や就業環境は？  | ●愛着ある伝統・文化、行事は？   |
| ●レジャー、買い物、遊びの場は？    | ●若者が活動しやすい環境は？    |
| ●安心して生活できる防災、防犯体制は？ | ●起業のための支援は？       |
| ●奨学金制度などの学生支援は？     | ●若者向けの住宅支援、住宅情報は？ |

##### ② 市民インタビューで現状や問題点についての意見も聞いてみましょう（第2回）

・第1回で議論した現状や問題点、及びその解決策、支援要請について、インタビューをして意見を聞いてみましょう。

##### ③ 若者が住みやすくなる・Uターンしたくなる取組について考えましょう（第3・4回）

・インタビュー結果を踏まえて、各テーマ（目標）実現のための取組について考えてみましょう。

##### ④ 第1回～第4回までの討議内容を提言として取りまとめましょう（第5回）

・今までの討議内容を、市民会議としての提言書として、とりまとめてみましょう。

##### ⑤ とりまとめた提言を発表してみましょう（第6回）

・とりまとめた提言内容を、発表してみましょう。

## 3-2 子育てしやすい環境づくりのための取組

### (1) 身近でこのような状況が発生する可能性があります

#### ■ 想定されるケース（ある子育て世帯の生活）

- 四街道市で子育てしている世帯がいます。
- 夫婦は子どもが好きで多くの子どもを望んでおり、共働きで子育てを頑張っています。
- 子どもが増え、広い住宅の購入を検討するようになり、より子育てしやすいまちへの移住を考えています。

### (2) 子育てしやすい環境づくりのための取組の検討イメージについて

市民会議での検討の流れの一例として、下記のような流れを想定しています。

#### ① 子育て世帯の現状と問題点についてどうお考えですか（第1回）

- 上記のような子育て世帯になったつもりで、市の現状や問題点を洗い出します。

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| ●母子の健康づくりや健診体制は？  | ●子育てに関する相談体制は？      |
| ●妊娠や出産のケア体制は？     | ●良質なファミリー向けの住宅の供給は？ |
| ●子育てに伴う経済的負担の軽減は？ | ●子育てに関する講座やサークル活動は？ |
| ●子どもを持つ親同士の交流の場は？ | ●子どもの遊び場、居場所づくりは？   |
| ●学習環境の支援体制は？      | ●安心して生活できる防災、防犯体制は？ |

#### ② 市民インタビューで現状や問題点についての意見も聞いてみましょう（第2回）

- 第1回で議論した現状や問題点、及びその解決策、支援要請について、インタビューをして意見を聞いてみましょう。

#### ③ 子育てしやすい環境づくりの取組について考えましょう（第3・4回）

- インタビュー結果を踏まえて、各テーマ（目標）実現のための取組について考えてみましょう。

#### ④ 第1回～第4回までの討議内容を提言として取りまとめましょう（第5回）

- 今までの討議内容を、市民会議としての提言書として、とりまとめてみましょう。

#### ⑤ とりまとめた提言を発表してみましょう（第6回）

- とりまとめた提言内容を、発表してみましょう。

## 3-3 中高年世代が安心して暮らせる地域づくりのための取組

### (1) 身近でこのような状況が発生する可能性があります

#### ■ 想定されるケース（ある高齢夫婦の生活）

- ・整備後 30 年以上経過した住宅団地等には、子どもが独立し、高齢夫婦のみで暮らしている世帯も多くなっています。
- ・定年後、自分の時間を持てるようになったことから自分の可能性を広げる活動や地域で自分の能力を活かした活動をしたいと考えています。
- ・パートナーを亡くした単身世帯が増え、地域と関わりが少なくなってきた近年の状況から、自分の将来についても不安を持っています。

### (2) このような夫婦が住み続けるための取組の検討イメージについて

市民会議での検討の流れの一例として、下記のような流れを想定しています。

#### ① 高齢夫婦が生活する上での現状と問題点についてどうお考えですか（第1回）

- ・上記のような高齢夫婦になったつもりで、市の現状や問題点を洗い出します。

- |                     |                          |
|---------------------|--------------------------|
| ● 高齢者の健康づくりや健診体制は？  | ● 日々の暮らしを支援して頂く地域福祉活動は？  |
| ● 介護が必要になった際の支援体制は？ | ● 生きがいづくりのための講座やサークル活動は？ |
| ● 健康寿命を延ばす支援体制は？    | ● 空き家などを活用した地域交流の場は？     |
| ● 高齢者でも働ける雇用や就業環境は？ | ● 安心して生活できる防災、防犯体制は？     |

#### ② 市民インタビューで現状や問題点についての意見も聞いてみましょう（第2回）

- ・第1回で議論した現状や問題点、及びその解決策、支援要請について、インタビューをして意見を聞いてみましょう。

#### ③ 高齢夫婦が安心して暮らせる取組について考えましょう（第3・4回）

- ・インタビュー結果を踏まえて、各テーマ（目標）実現のための取組について考えてみましょう。

#### ④ 第1回～第3回までの討議内容を提言として取りまとめましょう（第5回）

- ・今までの討議内容を、市民会議としての提言書として、とりまとめてみましょう。

#### ⑤ とりまとめた提言を公表してみましょう（第6回）

- ・とりまとめた提言内容を、発表してみましょう。



## 4 市民会議にあたっての情報提供

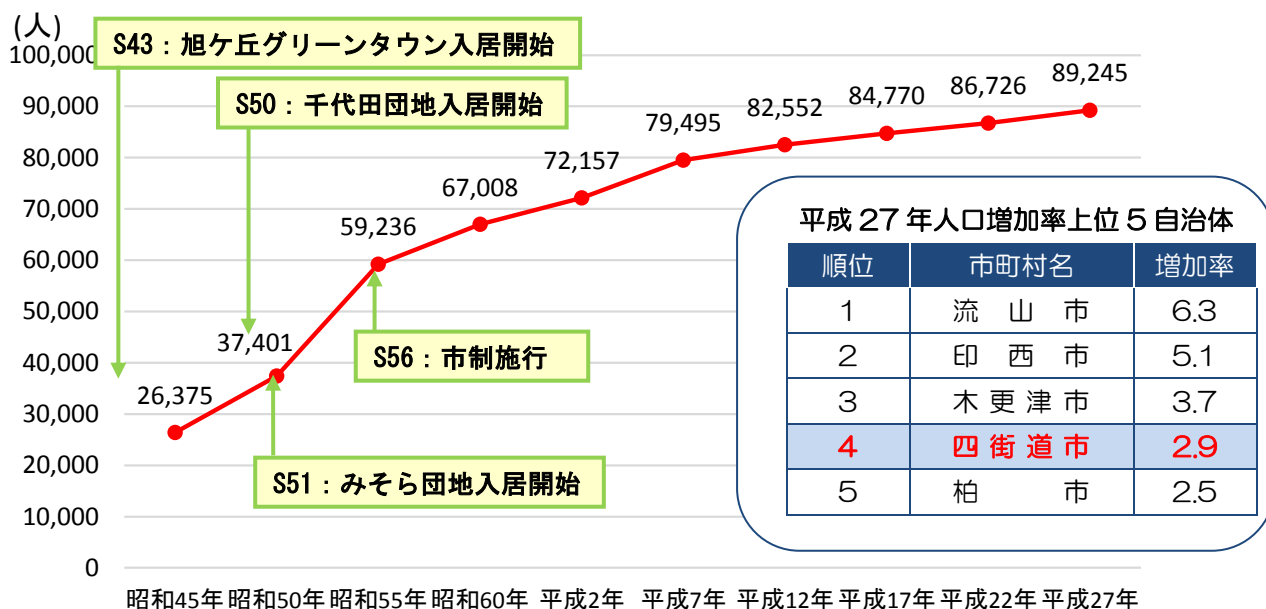
### 4-1 四街道市の現状

#### (1) 人口の推移

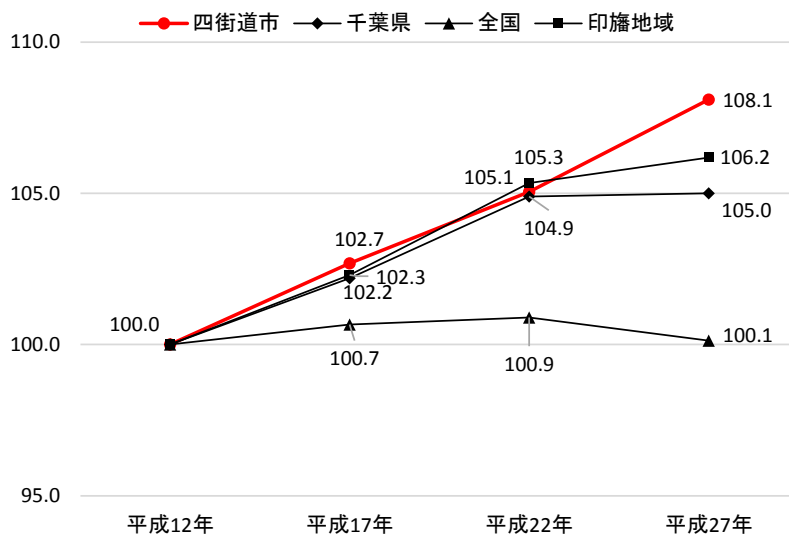
##### ① 総人口

- 四街道市の人口は、平成 27 年 89,245 人（国勢調査）で、全国で人口減少となり、千葉県もほぼ横ばいで推移するなかで、増加傾向を維持しています。
- 平成 27 年国勢調査における四街道市の人口増加率は、県内で 4 番目となっています。
- 平成 28 年 1 月 1 日から平成 29 年 1 月 1 日までの人口推移（千葉県毎月常住人口調査）をみると、県内 54 市町村の中で、人口増加傾向を維持しているのは四街道市を含む 17 市のみで、県内でも人口減少傾向となる市町村が多くなっています。

図一 四街道市の人口の推移＜資料：国勢調査＞



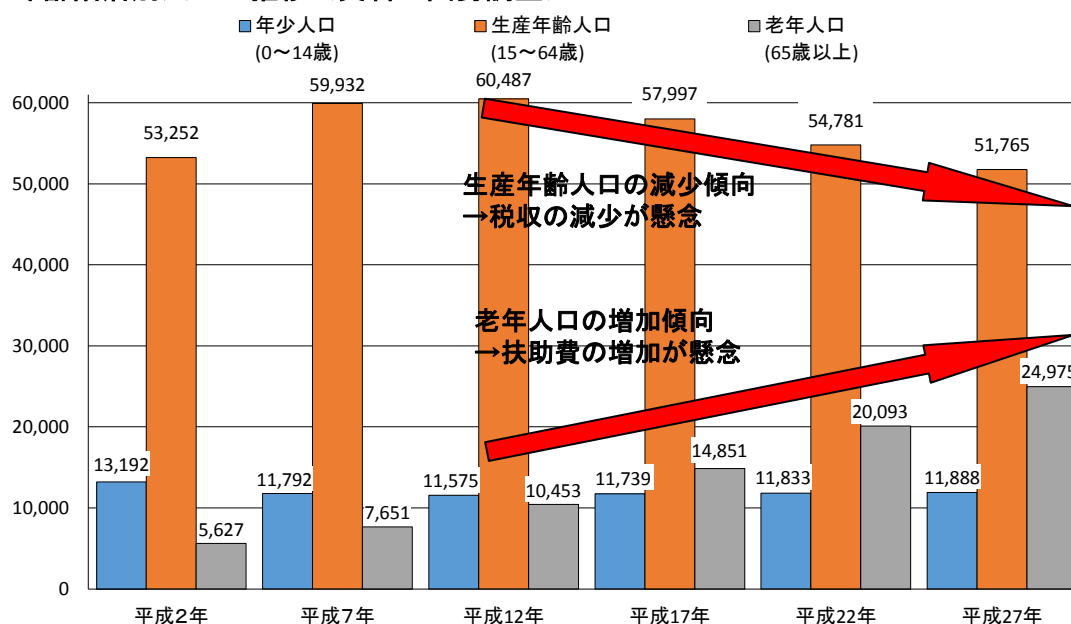
図一 四街道市、千葉県、全国の人口推移（平成 12 年を 100 とした数値）＜資料：国勢調査＞



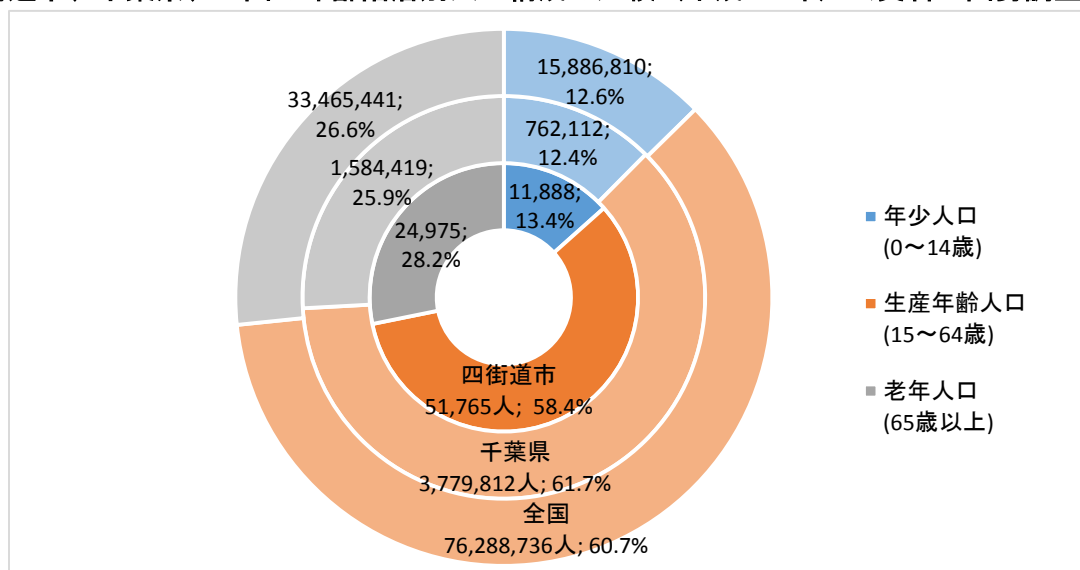
## ② 年齢階層別人口

- 四街道市の年齢階層別人口は、平成 27 年で、年少人口 11,888 人（13.4%）、生産年齢人口 51,765 人（58.4%）、老年人口 24,975 人（28.2%）で、少子高齢化の傾向にあります。ただし、年少人口は近年横ばいで推移しており、少子化の傾向が強まっているわけではありません。また、千葉県、全国の年齢階層別人口の構成比と比較すると、年少人口と老年人口の割合が高く、生産年齢人口の割合が低い傾向にあります。
- 四街道市の年齢階層別人口の推移をみると、特に平成 12 年以降、生産年齢人口が減少傾向に転じ、老年人口の増加傾向が強まっていることから、市の税収の減少と扶助費の増加が懸念される状況にあります。
- なお、住宅団地の中には、老年人口の割合が 50%を超える地区も出てきています。

図一 年齢階層別人口の推移＜資料：国勢調査＞



図一 四街道市、千葉県、全国の年齢階層別人口構成の比較（平成 27 年）＜資料：国勢調査＞



## (2) 将来人口の見通し

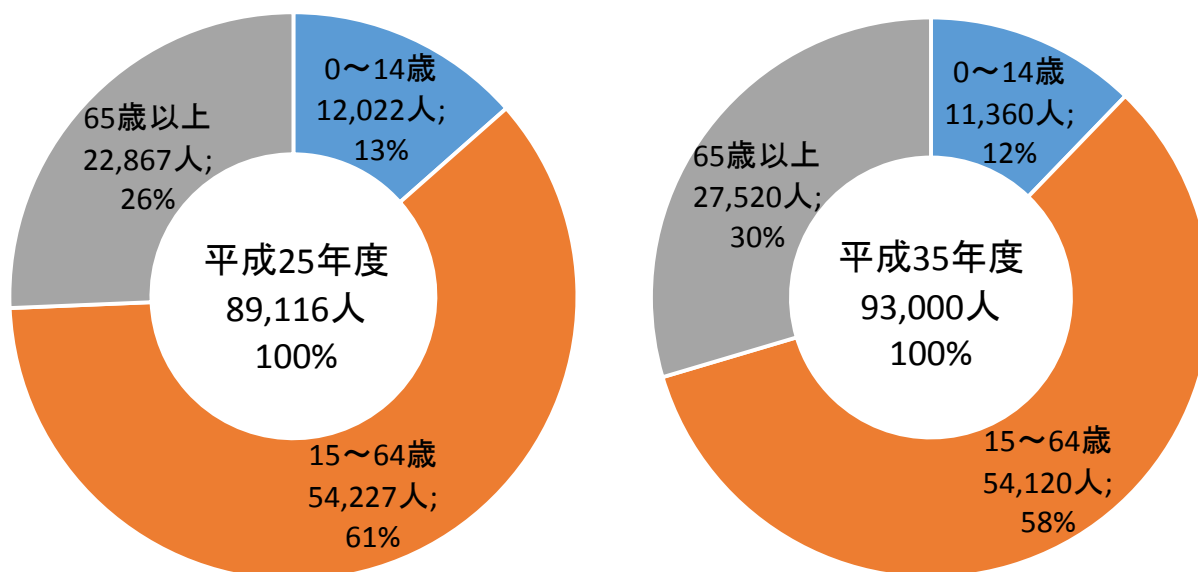
### ① 総人口

- 四街道市総合計画（基本構想）での将来フレームでは、市の人口は、平成 35 年度に 93,000 人になることを目標としています。四街道市の人口は、平成 35 年度までは増加基調で推移するものの、日本全体の少子高齢化による人口減少に伴い、以降本市においても人口減少に転じる可能性があります。
- したがって、今後は、人口減少を緩やかにする取組が必要となっています。

### ② 年齢階層別人口

- 四街道市総合計画（基本構想）での将来フレームでは、市の平成 35 年度の年齢階層別人口は、0～14 歳が 12%、15～64 歳が 58%、65 歳以上が 30%になると見込まれ、少子高齢化が進むものと見込まれています。
- したがって、今後は、人口減少と人口構成の不均衡に対応して、若い世代の転入促進、定住促進を図るとともに、市民がいつまでも安心して暮らせるまちづくりの取組が必要となっています。

図一年齢階層別人口の変化<資料：四街道市総合計画（基本構想）>

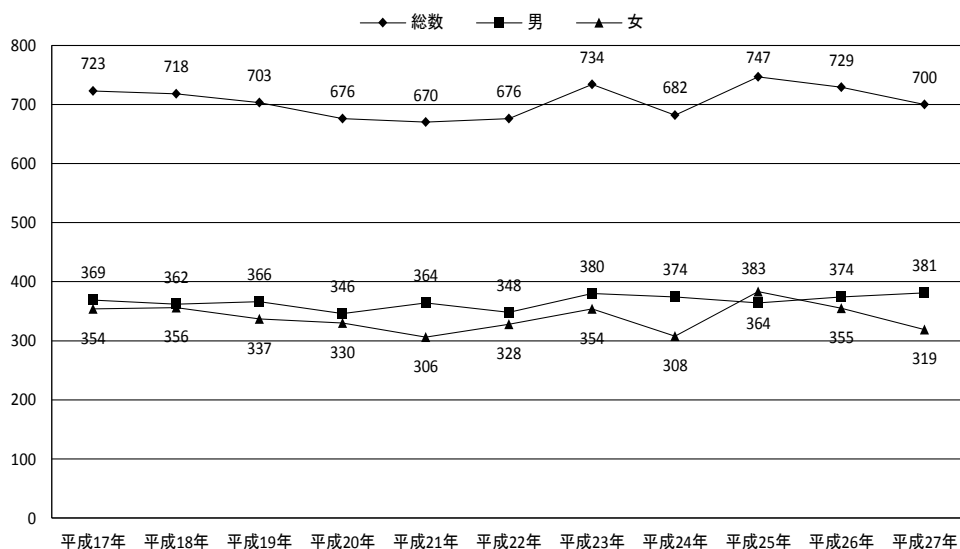


### (3) 出生・結婚・死亡

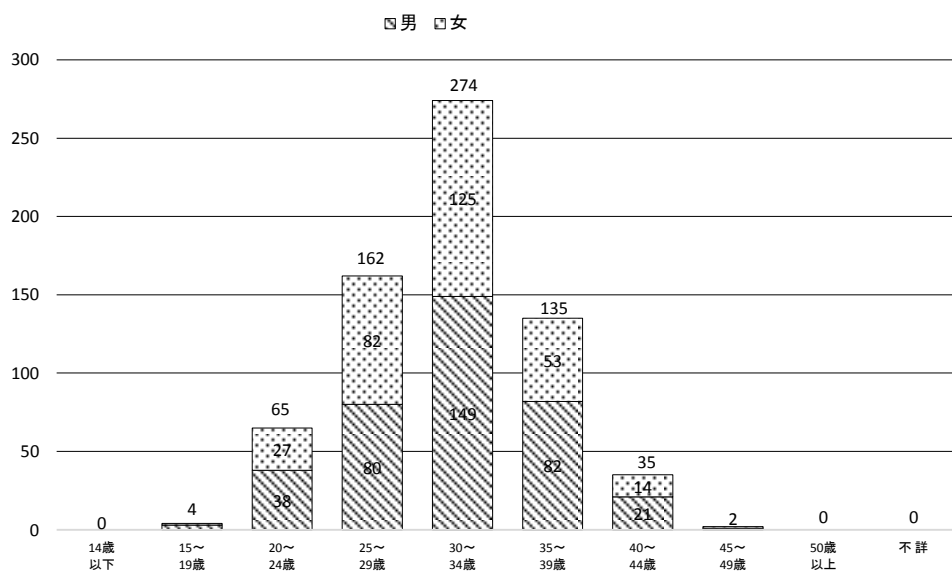
#### ① 出生数

- 四街道市における平成17年～平成27年の出生数の推移をみると、出生数は、近年では平成25年をピークに、以降はやや減少しています。
- 平成27年の母の年齢階層別出生数をみると、25歳～34歳の母親からの出生数が多くなっています。

図一出生数の推移＜資料：千葉県毎月常住人口調査＞



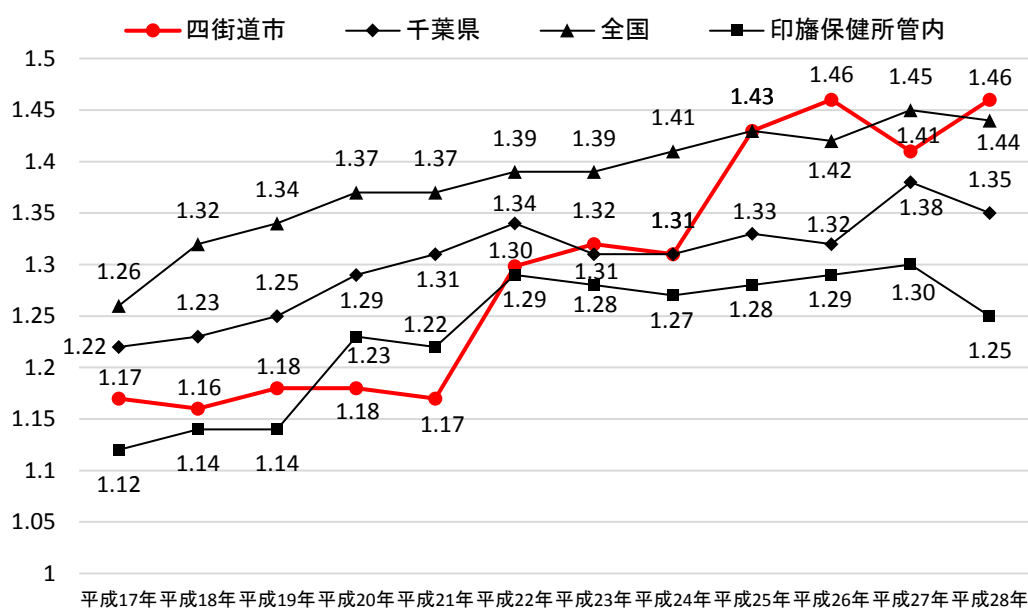
図一母の年齢階層別出生数（平成27年）＜資料：千葉県衛生統計年報＞



## ② 合計特殊出生率

- 四街道市における合計特殊出生率は、平成28年に1.46で、千葉県内の市町村の中では、木更津市、流山市に次ぐ、3番目に高い値となっています。
- 平成17年～平成28年の合計特殊出生率の推移をみると、合計特殊出生率は、平成26年まで増加傾向で推移し、平成27年はやや減少しましたが、平成28年は再び増加傾向となっています。
- 四街道市の合計特殊出生率は、近年、印旛保健所管内、千葉県、全国を上回る上昇傾向で推移し、平成28年では印旛保健所管内、千葉県、全国に比べ高い値となっています。

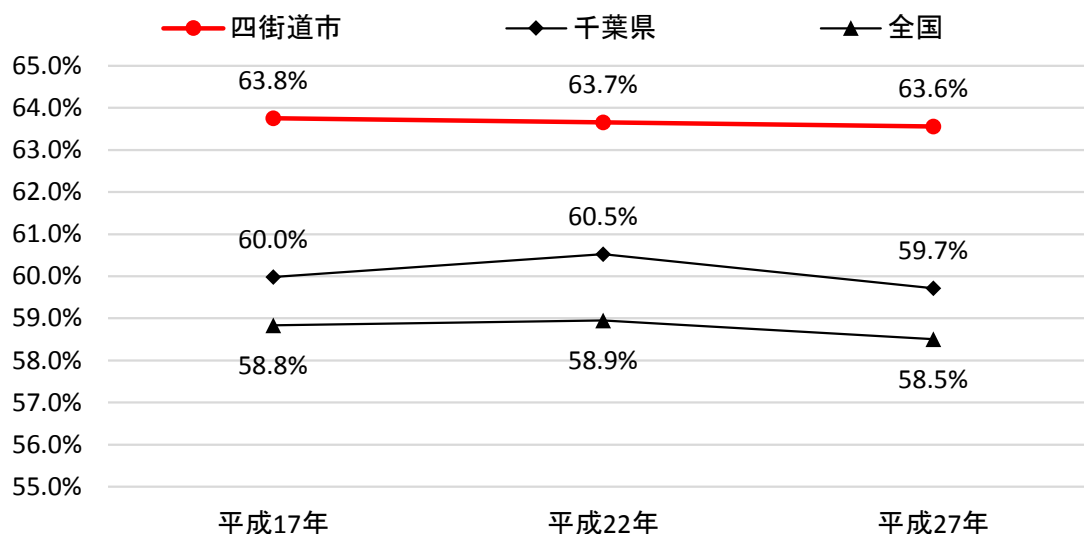
図一 合計特殊出生率の推移<資料：千葉県衛生統計年報>



## ③ 有配偶率

- 四街道市の平成27年の有配偶率は63.6%で、微減傾向で推移しています。
- 四街道市の有配偶率は、千葉県59.7%、全国58.5%と比べ高い値となっております。

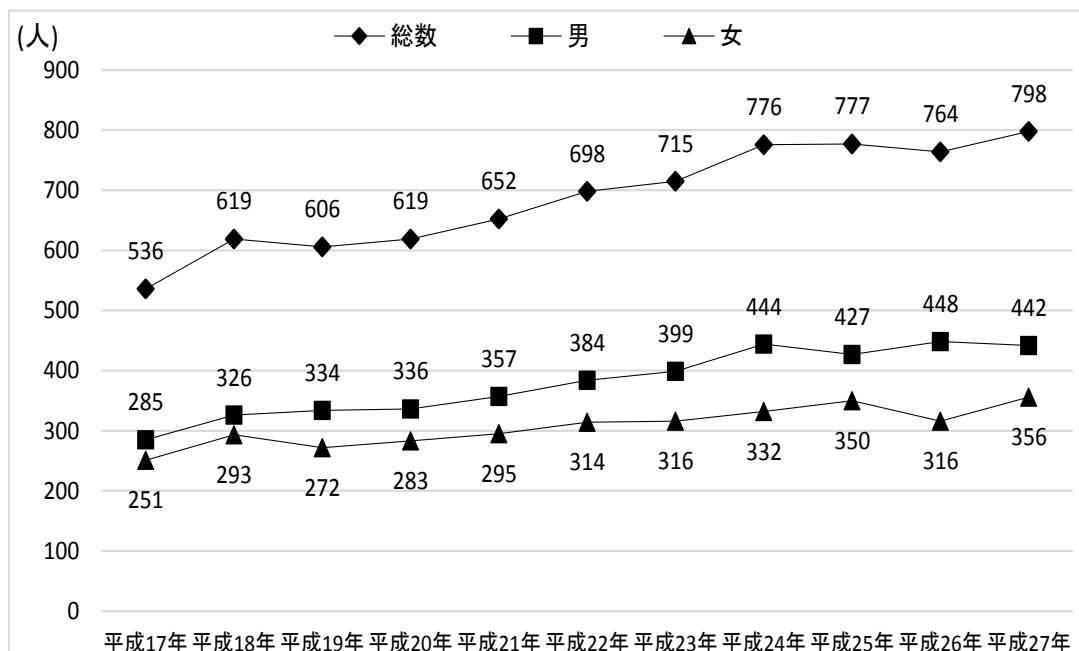
図一 有配偶率の推移と千葉県、全国との比較<資料：国勢調査>



### ③ 死亡者数

四街道市における平成17年～平成27年の死亡者数の推移をみると、死亡者数は、平成17年以降、増加傾向が続いています。

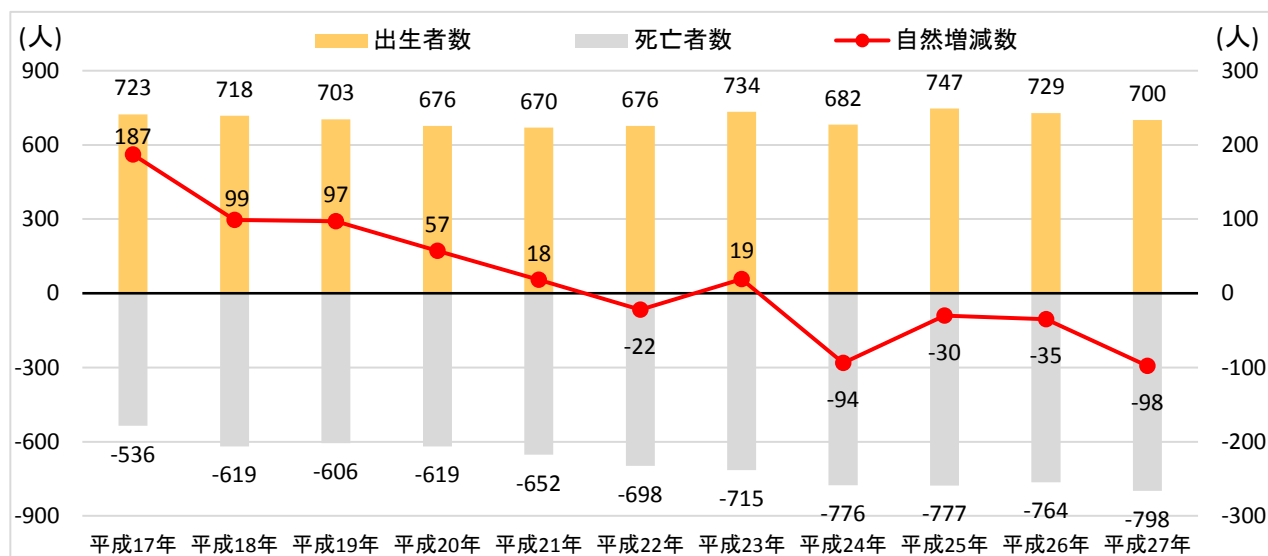
図一死亡者数の推移<資料：千葉県毎月常住人口調査>



### ④ 自然動態の推移

四街道市は、出生数が横ばいで推移し、死亡者数が増加しており、そのことで、自然動態は減少する傾向で推移しています。

図一自然動態の推移<資料：千葉県毎月常住人口調査>



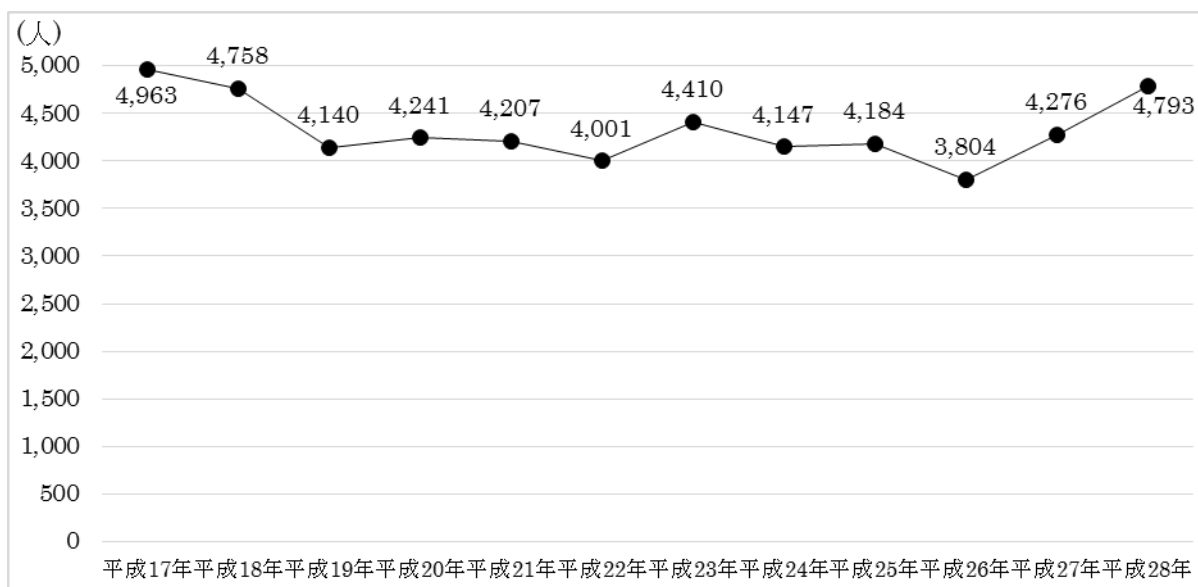
## (4) 転入・転出

### ① 転入

#### (転入者数の推移)

四街道市における平成 17 年～平成 28 年の転入者数の推移をみると、転入者数は、平成 26 年まで増減を繰り返しながら推移していましたが、以降は増加傾向にあります。

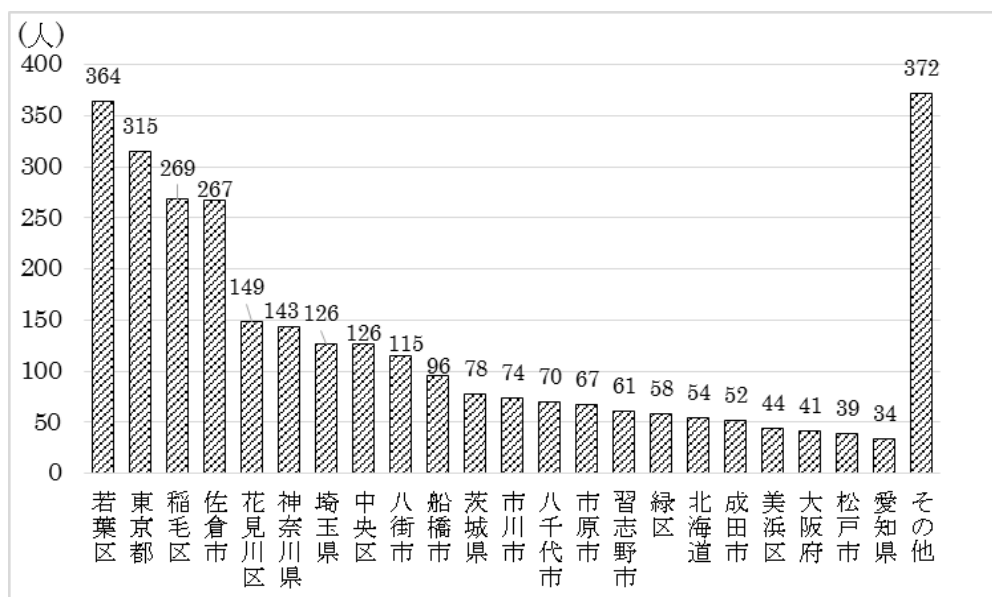
図一 転入者数の推移<資料：千葉県毎月常住人口調査>



#### (転入元別転入者数)

四街道市における平成 27 年の転入元別転入者数をみると、転入者の転入元は、千葉市（若葉区・稲毛区）、東京都、佐倉市が多くなっています。

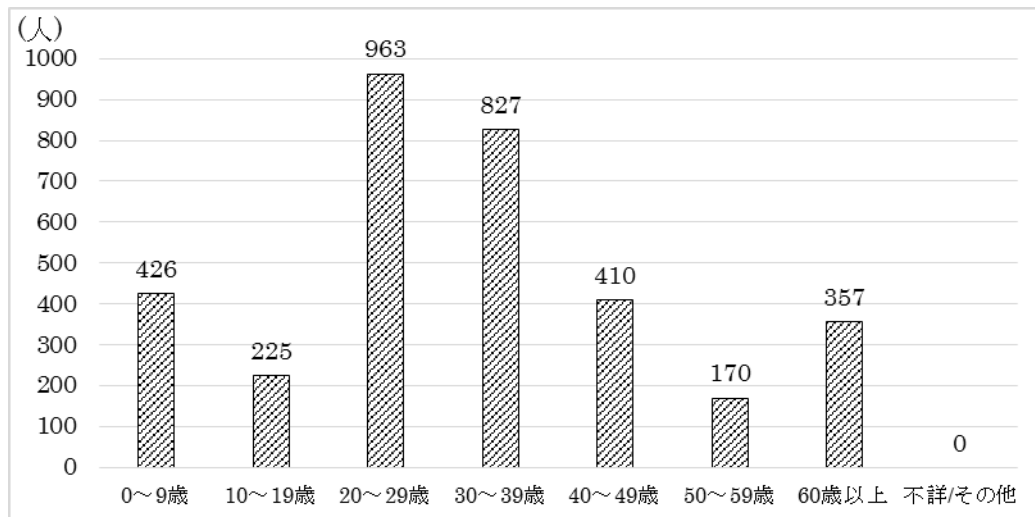
図一 転入元別転入者数（平成 27 年）<資料：住民基本台帳人口移動報告>



## (年齢別転入者数)

四街道市における平成 27 年の年齢別転入者数をみると、転入者は、20～30 歳代が多くなっています。

図一年齢別転入者数（平成 27 年）＜資料：住民基本台帳人口移動報告＞

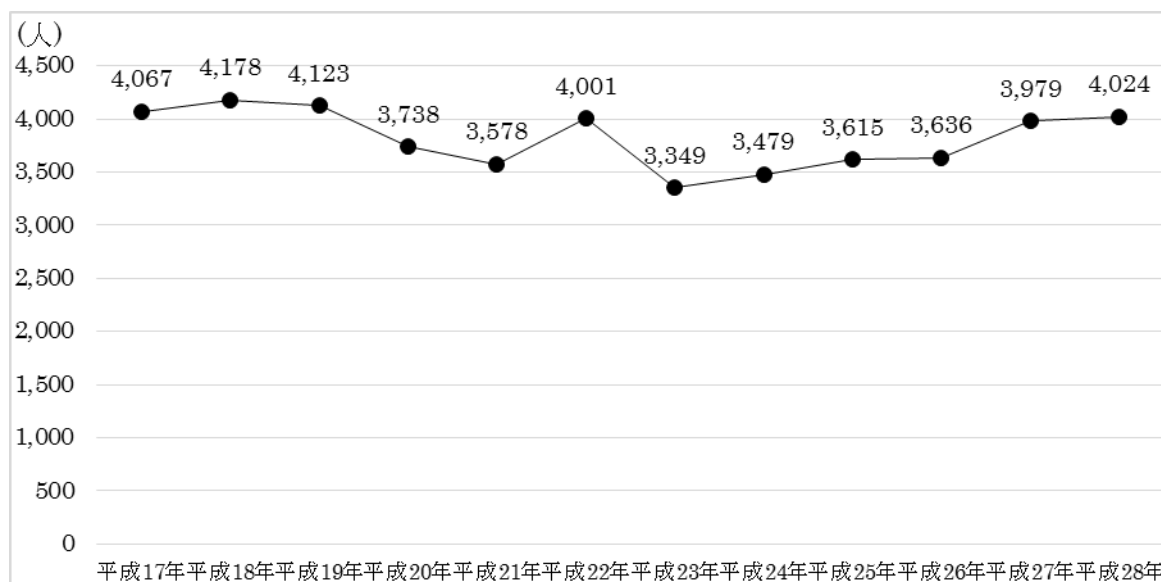


## ② 転出

### (転出者数の推移)

四街道市における平成 17 年～平成 28 年の転出者数の推移をみると、近年、転出者数は微増傾向が続いています。

図一転出者数の推移＜資料：千葉県毎月常住人口調査＞

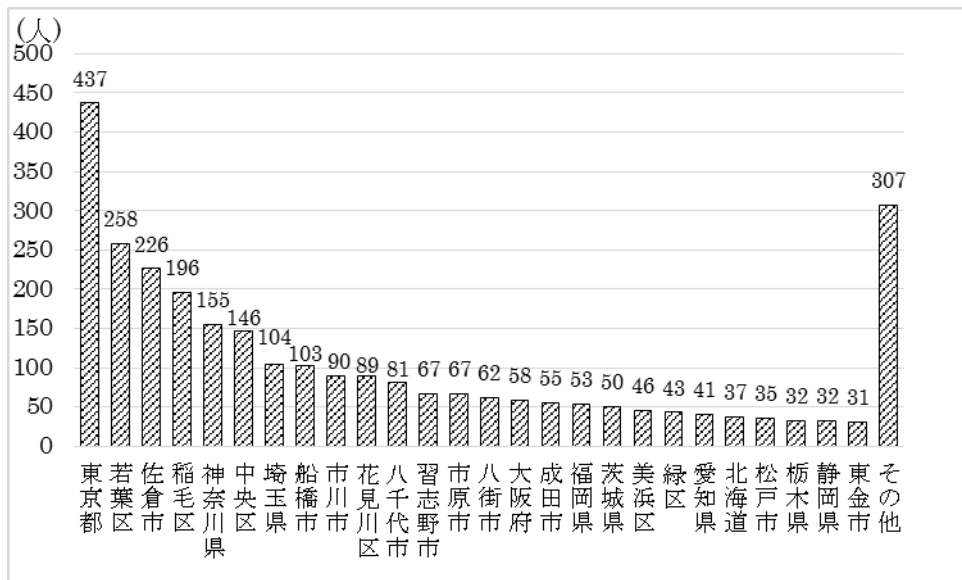




### (転出先別転出者数)

四街道市における平成 27 年の転出先別転出者数をみると、転出者の転出先は、東京都、千葉市（若葉区、稲毛区）、佐倉市、神奈川県が多くなっています。

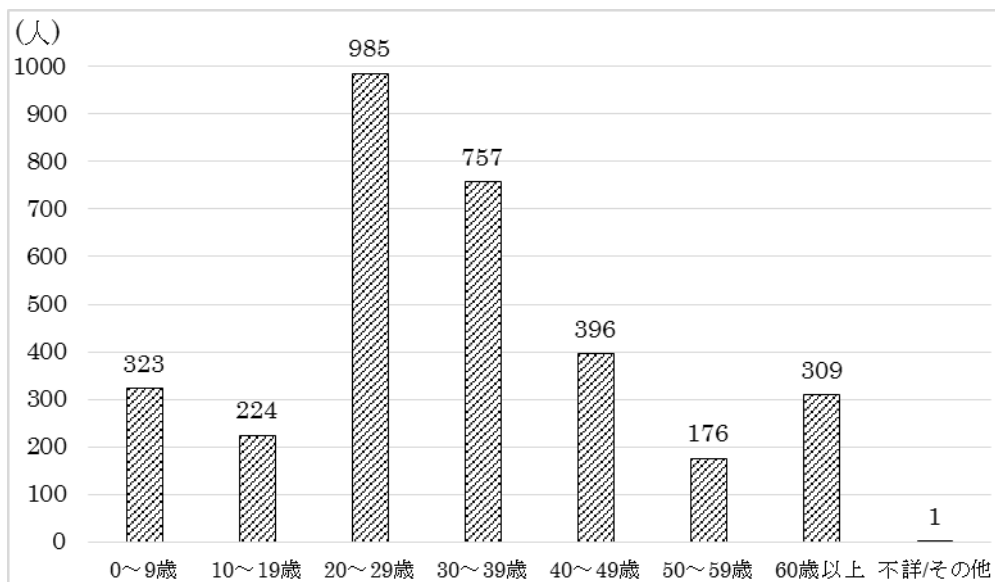
図一 転出先別転出者数（平成 27 年）＜資料：住民基本台帳人口移動報告＞



### (年齢別転出者数)

四街道市における平成 27 年の年齢別転出者数をみると、転出者は、20～30 歳代が多くなっています。

図二 年齢別転出者数（平成 27 年）＜資料：住民基本台帳人口移動報告＞

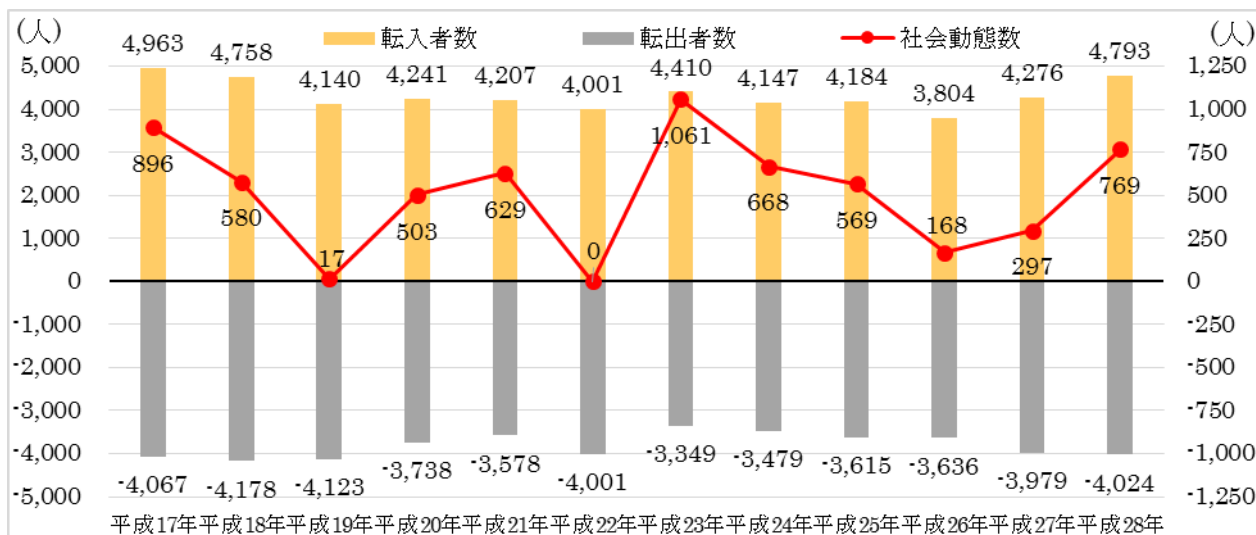


### ③ 社会動態の推移

#### (転入・転出者数の推移)

四街道市における平成17年～平成28年の社会動態の推移は、近年転入者数が増加する傾向にあり、社会増の傾向を維持しています。

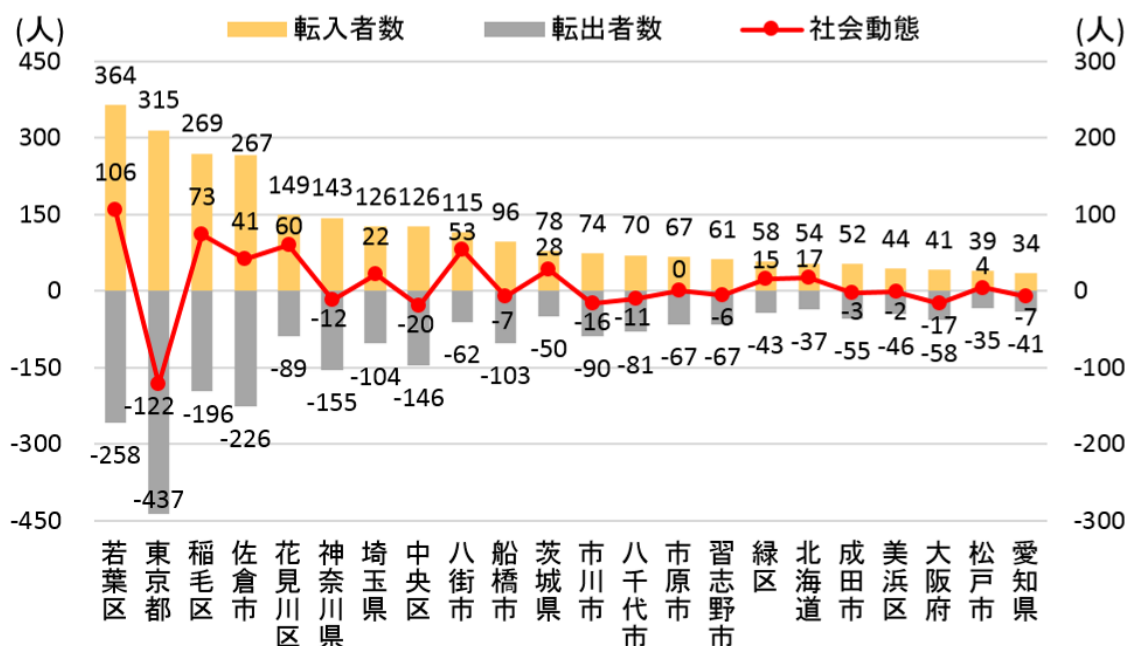
図－転入者数、転出者数、社会増減の推移<資料：千葉県毎月常住人口調査>



#### (転入・転出先別社会増減)

四街道市における平成27年の転入・転出先別社会増減をみると、対東京都で転出超過となっている一方で、千葉市、佐倉市、八街市等の近隣市に対しては、転入超過となっています。

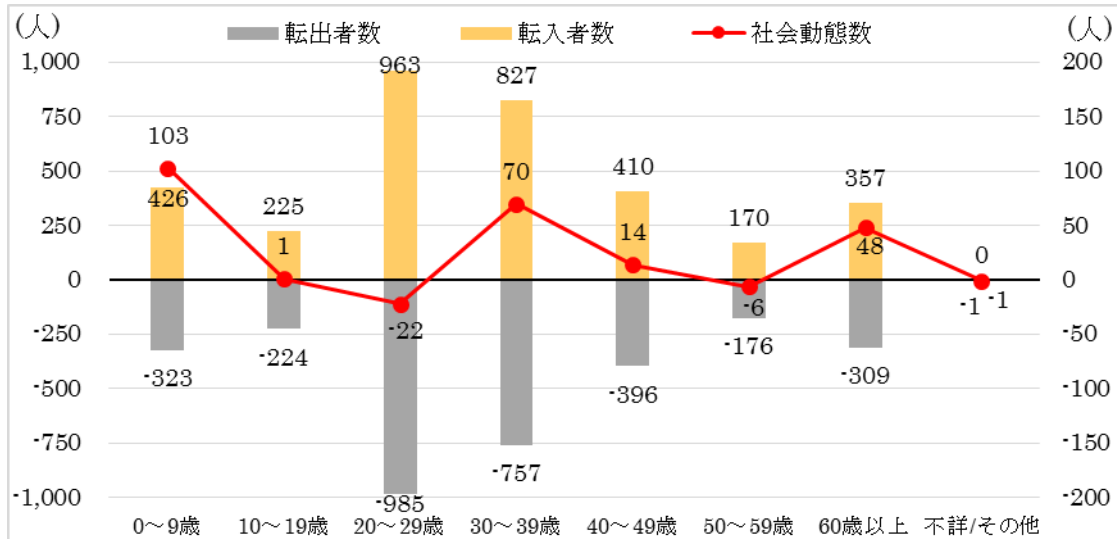
図－転入・転出先別社会増減<資料：住民基本台帳人口移動報告>



### (年齢別の社会増減)

- ・四街道市における平成 27 年の年齢別社会増減をみると、0～9 歳、30～39 歳の転入超過が強い傾向にあります。
- ・一方で、20～29 歳、50～59 歳が転出超過の傾向にあります。

図一年齢別社会増減<資料：住民基本台帳人口移動報告>



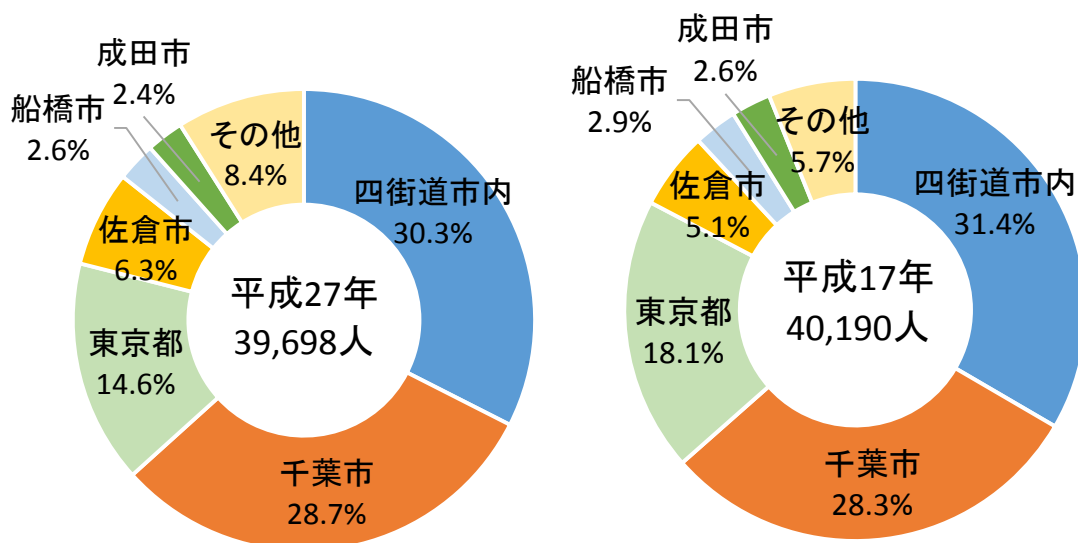
## (5) 通勤・通学

### ① 就業者数の推移

- ・市内に居住する就業者数は、平成 27 年 39,698 人で、横ばい傾向で推移しています。
- ・市内に居住する就業者のうち、市内で従業する就業者は 12,020 人（30.3%）であり、その割合は横ばいで推移しています。
- ・市外で従業する就業者 26,628 人の主な従業先は、千葉市が 11,409 人（28.7%）で最も多く、次いで東京都、佐倉市が多くなっています。
- ・従業先別の就業者数の推移は、東京都が減少傾向で、千葉市、佐倉市が増加傾向にあります。

図表－就業者数の推移＜資料：国勢調査＞

	平成 27 年		22 年		17 年	
	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比
就業者数	39,698	100.0%	38,889	100.0%	40,190	100.0%
市内就業者数	12,020	30.3%	11,468	29.5%	12,629	31.4%
市外就業者数	26,628	67.1%	26,965	69.3%	27,561	68.6%
千葉市	11,409	28.7%	11,067	28.5%	11,371	28.3%
東京都	5,786	14.6%	6,161	15.8%	7,258	18.1%
佐倉市	2,485	6.3%	2,247	5.8%	2,045	5.1%
船橋市	1,013	2.6%	1,087	2.8%	1,146	2.9%
成田市	965	2.4%	944	2.4%	1,051	2.6%
八千代市	551	1.4%	529	1.4%	595	1.5%
習志野市	513	1.3%	504	1.3%	545	1.4%
市川市	463	1.2%	452	1.2%	470	1.2%
八街市	395	1.0%	333	0.9%	353	0.9%
市原市	355	0.9%	379	1.0%	339	0.8%
不詳	1,050	2.6%	456	1.2%	-	-

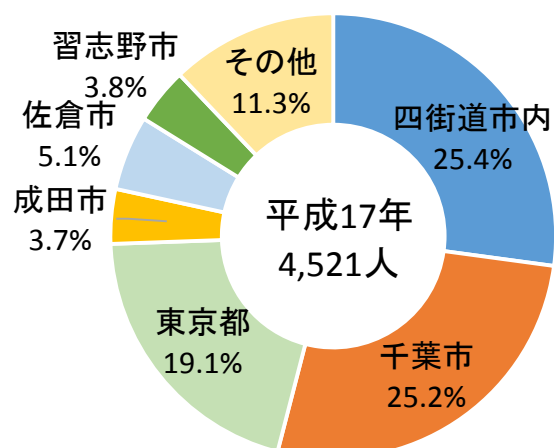
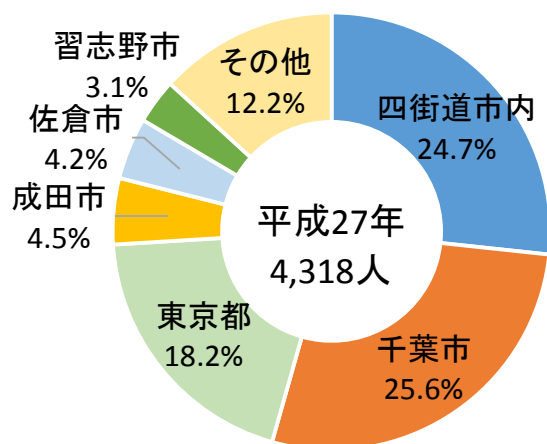


## ② 就学者数の推移

- ・市内に居住する15歳以上の就学者数は、平成27年4,318人で微減傾向で推移しています。
- ・市内に居住する就学者のうち、市内で就学する就学者は1,065人(24.7%)であり、その割合は横ばいで推移しています。
- ・市外への就学者3,135人の主な就学先は、千葉市が1,105人(25.6%)で最も多く、次いで東京都、成田市が多くなっています。

図表一 就学者数の推移<資料：国勢調査>

	平成27年		22年		17年	
	就学者数	構成比	就学者数	構成比	就学者数	構成比
就学者数	4,318	100.0%	4,351	100.0%	4,521	100.0%
市内就学者数	1,065	24.7%	923	21.2%	1,150	25.4%
市外就学者数	3,135	72.6%	3,390	77.9%	3,371	74.6%
千葉市	1,105	25.6%	1,175	27.0%	1,139	25.2%
東京都	784	18.2%	756	17.4%	865	19.1%
成田市	195	4.5%	172	4.0%	168	3.7%
佐倉市	182	4.2%	216	5.0%	230	5.1%
習志野市	132	3.1%	144	3.3%	172	3.8%
市川市	102	2.4%	122	2.8%	140	3.1%
八千代市	96	2.2%	101	2.3%	115	2.5%
船橋市	92	2.1%	104	2.4%	118	2.6%
八街市	74	1.7%	67	1.5%	69	1.5%
神奈川県	45	1.0%	49	1.1%	71	1.6%
不詳	118	2.7%	38	0.9%	-	-



## (6) 財政状況

### ① 歳入

- 市税は、堅調ですが、大幅な増収は見込めず、今後も交付税等の増減に影響されながら、しばらくは、一般財源総額は155億円前後で推移する見込みです。

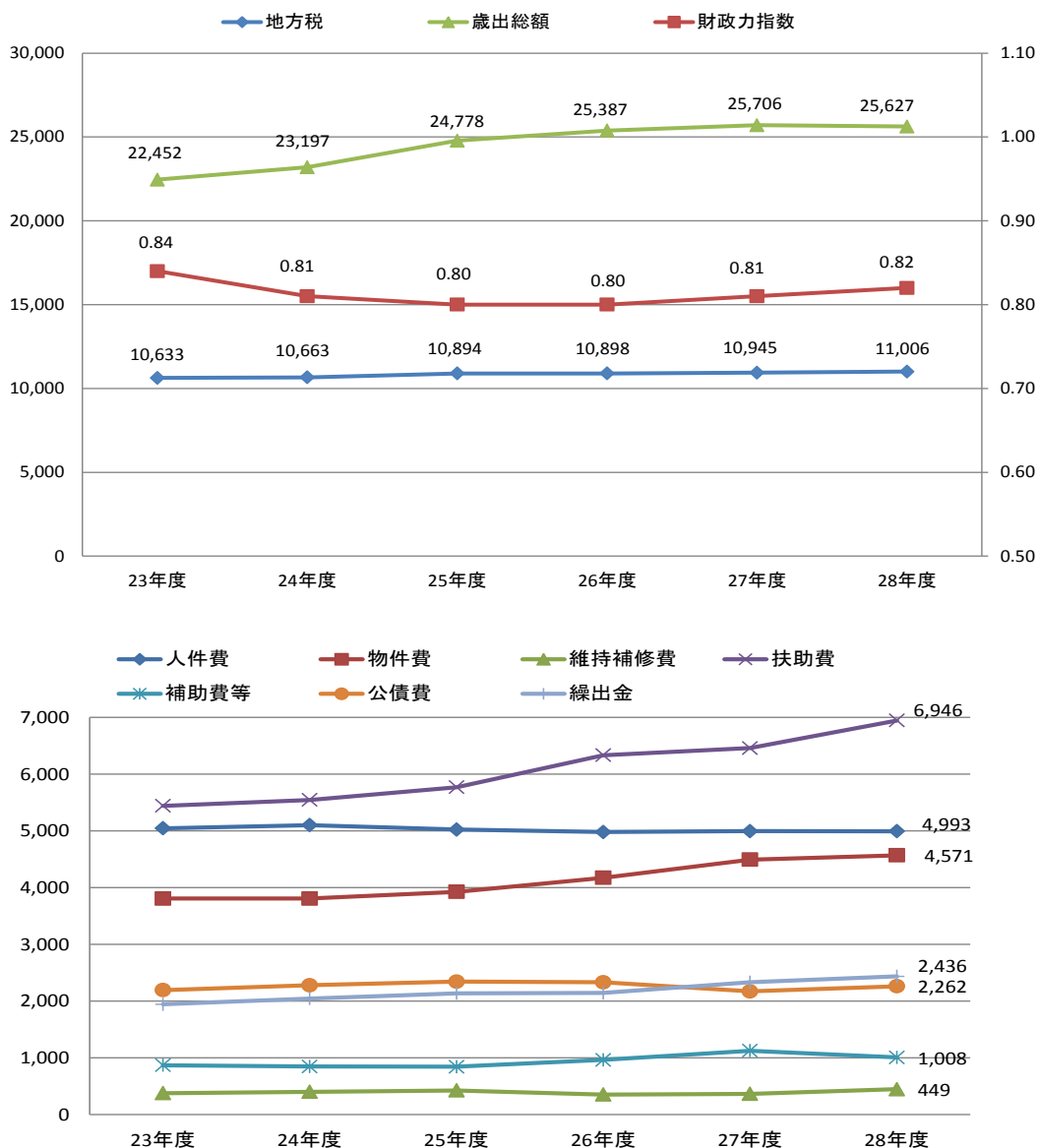
### ② 歳出

- 扶助費や繰出金の増加が続いており、高齢化の影響を踏まえると、今後も同様の傾向が継続すると思われます。
- 物件費は、小中学校エアコン賃借料、指定管理料等高水準で推移する見込みです。

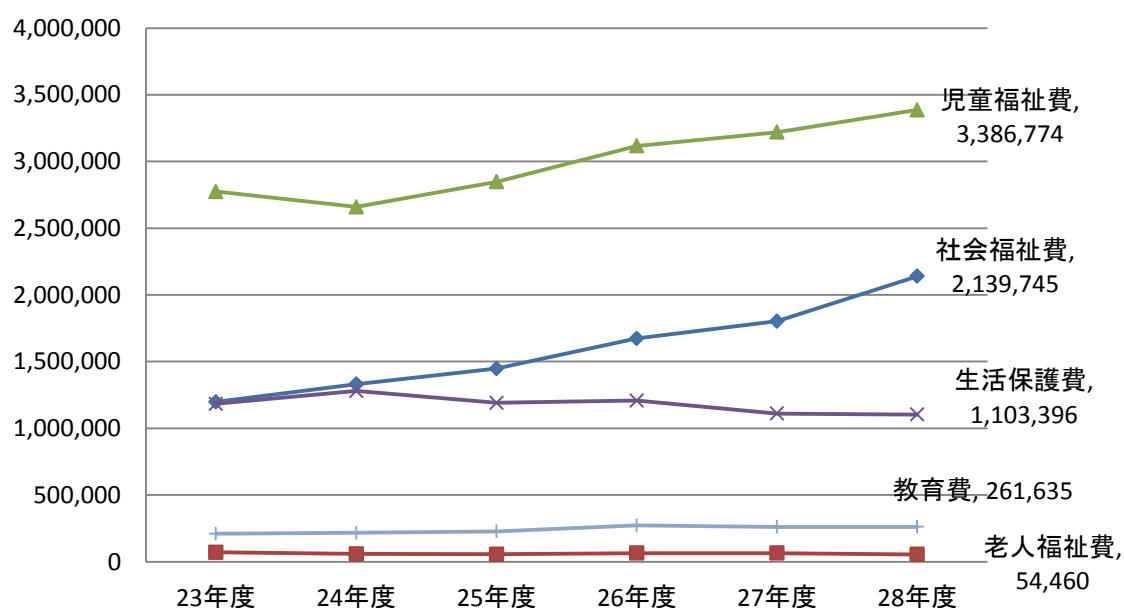
### ③ 収支

- 上記の歳入・歳出見通しからすると、29年度も経常収支比率の大幅な改善は見込めない状況です。
- 次期ごみ処理施設、新庁舎整備など大型事業に対応していくには、経常経費の一層の削減及び起債の抑制が必要です。

図一四街道市の財政の推移<資料：四街道市決算カード>（単位：百万円）



図一四街道市の扶助費の推移<資料：四街道市決算カード>（単位：千円）



扶 助 費	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
社 会 福 祉 費	1,198,467	1,331,358	1,447,458	1,673,570	1,802,535	2,139,745
老 人 福 祉 費	70,462	58,804	55,525	64,140	64,629	54,460
児 童 福 祉 費	2,775,049	2,659,928	2,848,282	3,116,111	3,220,158	3,386,774
生 活 保 護 費	1,183,850	1,280,040	1,190,368	1,208,346	1,110,776	1,103,396
衛 生 費	3,873	0	0	0	0	0
教 育 費	209,262	216,318	227,454	271,770	261,230	261,635
合 計	5,440,963	5,546,448	5,769,087	6,333,937	6,459,328	6,946,010

財政用語

項 目	内 容
財政力指数	地方公共団体の財政力を示す指標で、基準財政需要額に対する基準財政収入額の割合で、過去3ヶ年の平均値です。数値が大きいくほど財源に余裕があるとされ、1を超える団体は普通交付税の不交付団体となります。 財政力指数＝基準財政収入額／基準財政需要額
人 件 費	市職員の給与や退職金、議員や委員の報酬などの経費です。
扶 助 費	生活保護法や児童福祉法等に基づき、児童・高齢者・生活困窮者などを援助するための経費です。
公 債 費	地方債の償還に係る経費です。
物 件 費	消費的性質の経費の総称です。賃金、旅費、交際費、需用費、役務費、備品購入費、報償費、委託料、使用料及び賃借料等です。
維持補修費	公共用施設等の維持管理の経費です。
補助費等	各種団体に対する助成金や一部事務組合への負担金などの経費です。報償費や保険料、負担金・補助金及び交付金などです。
繰 出 金	他会計に支出する経費です。

## 4-2 市民ニーズの傾向

四街道市では、平成 28 年 11 月に市民 3,000 人の方を対象とした、アンケート調査を実施しています。(回収票 1,549 人)

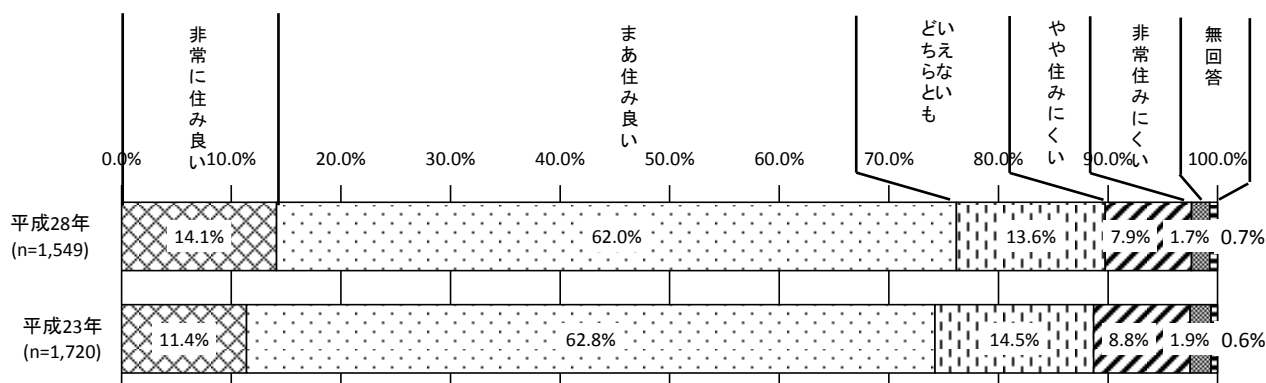
### (1) 市民意識（住みよさ・定住意識）

#### ① 住み良さに対する意識

（あなたにとって、四街道市は、住み良いところですか）

7割以上が、四街道市は“住み良い”と感じている

- 住み良さについてみると、「非常に住み良い」14.1%、「まあ住み良い」62.0%で、両者を合わせた76.1%が“住み良い”と感じています。一方、「やや住みにくい」は7.9%、「非常に住みにくい」は1.7%となっています。
- これを平成 23 年調査の回答結果と比較すると、“住み良い”と回答した人の割合は1.9%増加し、“住みにくい”（「やや住みにくい」+「非常に住みにくい」）は1.1%減少しています。

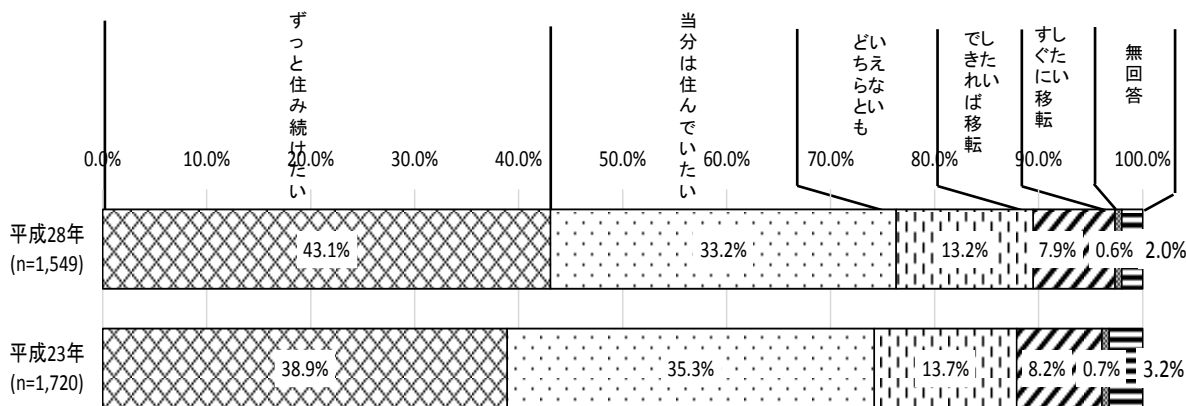


#### ② 定住意識

（あなたは、これからも四街道市に住み続けたいと思いますか）

“ずっと住み続けたい”という回答が過去と比べ増加

- 「ずっと住み続けたい」43.1%、「当分は住んでいたい」33.2%で、両者を合わせた76.3%が“住み続けたい”と回答しています。一方、「できれば移転したい」は7.9%、「すぐに移転したい」は0.6%となっています。
- 平成 23 年調査の回答結果と比較すると、“住み続けたい”と回答した人の割合は2.1%増加し、“移転したい”（「できれば移転したい」+「すぐに移転したい」）と回答した人の割合は0.4%減少しています。



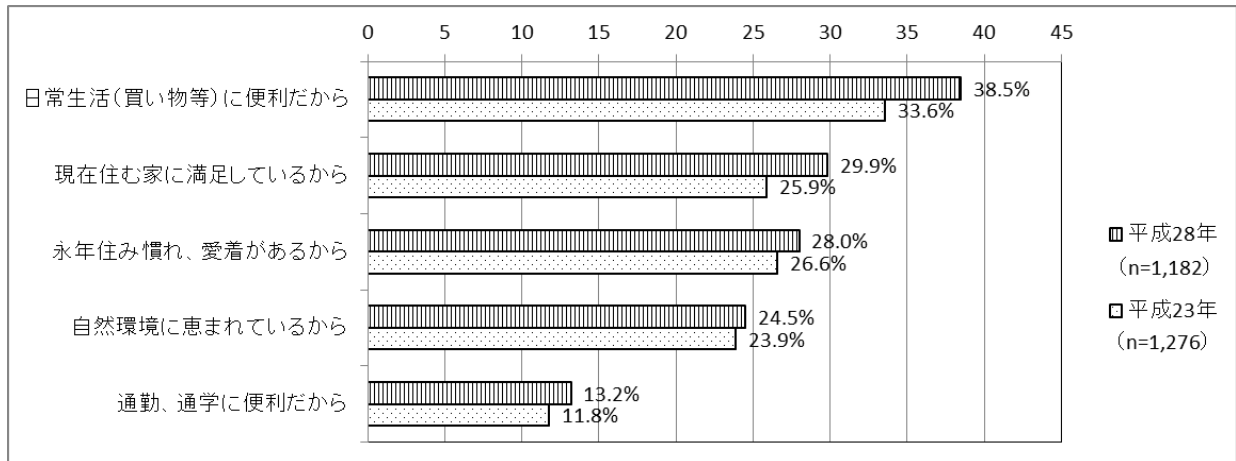


### ③ 住み続けたい理由

（「ずっと住み続けたい」、「当分は住んでいたい」を選ばれた方）

「日常生活（買い物等）に便利だから」が約4割で第1位

住み続けたい理由は、「日常生活（買い物等）に便利だから」38.5%が最も高く、次いで「現在住む家に満足しているから」29.9%、「永年住み慣れ、愛着があるから」28.0%の順となっています。

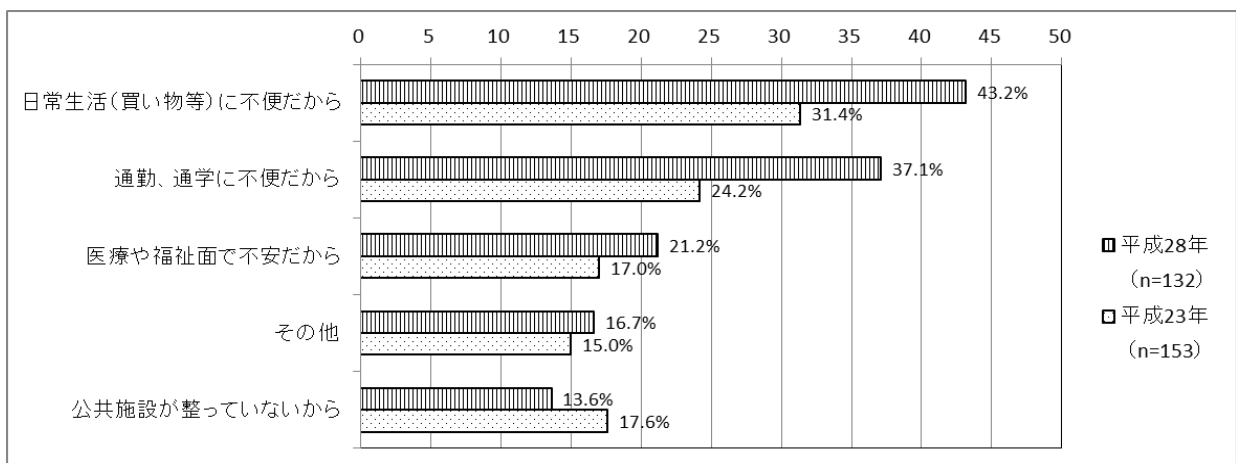


### ④ 移転したい理由

（「できれば移転したい」、「すぐに移転したい」を選ばれた方）

「日常生活（買い物等）に不便だから」が第1位

- ・移転したい理由は、「日常生活（買い物等）に不便だから」の43.2%が最も高く、次いで「通勤、通学に不便だから」37.1%、「医療や福祉面で不安だから」21.2%などとなっています。
- ・平成23年と比較すると、「日常生活（買い物等）に不便だから」が増加しています。地区別の回答をみると、地区A（亀崎、千代田他）、地区B（栗山、内黒田他）、地区E（山梨、みそら他）では、「日常生活（買い物等）に不便だから」が最も高くなっています。



⑤ 四街道市を好きと感じているか  
(あなたは、四街道市を好きと感じていますか)

7割以上が、四街道市を“好き”と感じている

- 四街道市を好きと感じているかどうかについては、「好きと感じている」25.0%、「まあ好きと感じている」48.4%で、両者を合わせた73.4%が四街道を“好き”と感じています。
- 一方、「やや嫌いと感じている」は2.3%、「嫌いと感じている」は0.9%となっています。

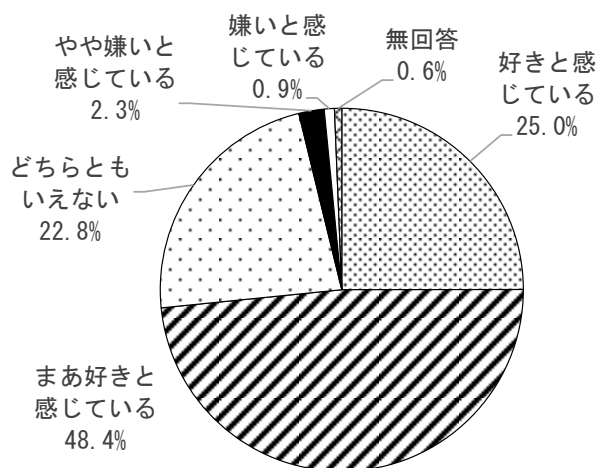


図 四街道を好きと感じているかどうか (n=1,549)

## (2) 市民意識（施策に関する現在の満足度、今後の重要度）

アンケート調査では、総合計画の施策体系 23 体系ごとに、現在の満足度、今後の重要度について、評価をして頂き、今後の重点施策検討の参考資料としております。

### ① 現在の満足度

「生活基盤」の満足度が最も高く、「道路・交通」の不満足度が最も高い

- ・四街道市総合計画の施策分野ごとの満足度をみると、満足度が高い（「満足」＋「どちらかといえば満足」の合計）施策分野は、「生活基盤」が 42.2%、「消防・救急」39.2%、「住環境」35.1%、「循環型社会」33.3%、「環境保全」28.2%となっています。
- ・不満足度が高い（「どちらかといえば不満」＋「不満」の合計）施策分野は、「道路・交通」の 38.9%のほか、「市街地形成」29.9%、「産業・就業支援」21.5%、「行財政運営」18.7%、「社会保障」18.6%となっています。

表一 主な施策分野に対する現在の満足度

n = 1,549 (単位：%)

項目	満足 + どちらか といえば満足			どちら でもない	どちらか といえば不満 + 不満		
		満足	どちらか といえば満足			どちらか といえば不満	不満
1 子ども家庭支援	26.3	4.2	22.1	48.0	11.8	9.2	2.6
2 高齢者支援	21.0	3.1	17.9	55.6	17.2	13.6	3.6
3 障害者支援	16.1	3.0	13.1	62.5	9.9	7.5	2.4
4 地域福祉	19.9	2.1	17.8	57.7	15.0	11.3	3.7
5 健康づくり	26.2	3.3	22.9	52.9	14.7	11.7	3.0
6 社会保障	16.4	2.6	13.8	56.9	18.6	14.0	4.6
7 防災・減災	25.6	3.5	22.1	50.9	16.1	12.7	3.4
8 消防・救急	39.2	7.6	31.6	45.9	8.7	5.9	2.8
9 防犯・交通安全・消費者保護	26.5	3.8	22.7	54.4	12.6	9.6	3.0
10 子ども教育	22.8	3.2	19.6	53.3	12.2	9.6	2.6
11 生涯学習	17.5	2.0	15.5	63.9	9.8	7.9	1.9
12 文化、スポーツ	22.8	3.0	19.8	56.6	13.6	10.0	3.6
13 環境保全	28.2	3.5	24.7	50.4	15.3	12.3	3.0
14 循環型社会	33.3	3.7	29.6	48.2	12.5	10.2	2.3
15 住環境	35.1	5.4	29.7	46.2	12.4	9.2	3.2
16 生活基盤	42.2	9.0	33.2	39.6	12.6	9.4	3.2
17 道路・交通	22.4	3.7	18.7	34.0	38.9	26.8	12.1
18 市街地形成	17.3	2.8	14.5	46.2	29.9	20.8	9.1
19 産業・就業支援	10.7	1.7	9.0	60.6	21.5	16.8	4.7
20 みんなで地域づくり	16.4	1.9	14.5	66.8	9.2	7.7	1.5
21 シティセールス	12.6	1.9	10.7	67.5	12.4	9.7	2.7
22 行財政運営	16.4	2.1	14.3	57.5	18.7	13.9	4.8
23 共生社会	10.8	1.6	9.2	74.8	7.0	5.5	1.5

※「無回答」は除いているため、合計値は100%にはならない。

## ② 今後の重要度

「高齢者支援」が最も重要度が高い

- 重要度が高い（「重要」＋「まあ重要」の合計）施策分野は、「高齢者支援」の82.4%が最も高く、「防災・減災」の77.9%、「道路・交通」の77.2%、「消防・救急」の77.1%、「子ども家庭支援」の74.1%が続いています。このうち「消防・救急」は、現在の満足度、今後の重要度のいずれも回答の割合が高くなっています。
- 一方、重要度が低い（「あまり重要ではない」＋「重要でない」の合計）施策分野は、「共生社会」9.1%、「シティセールス」9.0%、「文化、スポーツ」5.4%、「生涯学習」5.1%、「みんなで地域づくり」4.6%、となっています。

表一 主な施策分野に対するこれからの重要度

n = 1,549 (単位：%)

項目	重要 ＋ まあ重要			普通	あまり重要 ではない ＋ 重要でない	あまり重要 ではない ＋ 重要でない	重要でない
		重要	まあ重要				
1 子ども家庭支援	74.1	47.8	26.3	11.2	2.1	1.1	1.0
2 高齢者支援	82.4	59.7	22.7	9.2	1.6	1.1	0.5
3 障害者支援	67.9	39.2	28.7	19.3	1.8	1.3	0.5
4 地域福祉	73.8	43.5	30.3	16.7	1.3	1.0	0.3
5 健康づくり	73.1	38.3	34.8	17.8	1.6	1.4	0.2
6 社会保障	70.3	38.3	32.0	19.8	0.7	0.5	0.2
7 防災・減災	77.9	50.9	27.0	12.8	0.7	0.6	0.1
8 消防・救急	77.1	48.7	28.4	14.8	0.6	0.5	0.1
9 防犯・交通安全・消費者保護	73.5	38.5	35.0	17.4	1.1	1.0	0.1
10 子ども教育	71.8	44.4	27.4	15.9	1.5	1.0	0.5
11 生涯学習	48.9	18.1	30.8	37.2	5.1	4.1	1.0
12 文化、スポーツ	47.2	17.4	29.8	39.6	5.4	4.4	1.0
13 環境保全	63.5	26.2	37.3	26.7	1.5	1.4	0.1
14 循環型社会	66.1	29.6	36.5	24.7	1.0	0.7	0.3
15 住環境	62.1	25.9	36.2	28.1	1.6	1.5	0.1
16 生活基盤	69.9	37.2	32.7	21.4	0.6	0.5	0.1
17 道路・交通	77.2	42.0	35.2	14.6	1.3	0.8	0.5
18 市街地形成	61.5	30.0	31.5	26.7	3.6	2.6	1.0
19 産業・就業支援	53.6	21.6	32.0	34.7	3.3	2.6	0.7
20 みんなで地域づくり	43.6	14.5	29.1	43.3	4.6	3.3	1.3
21 シティセールス	38.2	13.9	24.3	44.5	9.0	6.7	2.3
22 行財政運営	61.5	30.9	30.6	28.4	1.7	1.3	0.4
23 共生社会	34.9	12.1	22.8	48.0	9.1	6.5	2.6

※「無回答」は除いているため、合計値は100%にはならない。

現在の満足度と今後の重要度の回答結果をそれぞれ数値化して散布図としたところ、現在の満足度の平均値は「3.079」となりました。一方、今後の重要度については、平均値が「4.029」となり、各施策分野とも重要度が高いと考えられています。

※満足度・重要度の5段階評価（加重平均）

現在の満足度		今後の重要度	
回答の選択肢	加重平均の得点	回答の選択肢	加重平均の得点
満足	5.0	重要	5.0
どちらかといえば満足	4.0	まあ重要	4.0
どちらでもない	3.0	普通	3.0
どちらかといえば不満	2.0	あまり重要ではない	2.0
不満	1.0	重要でない	1.0

図 満足度・重要度散布図の概念

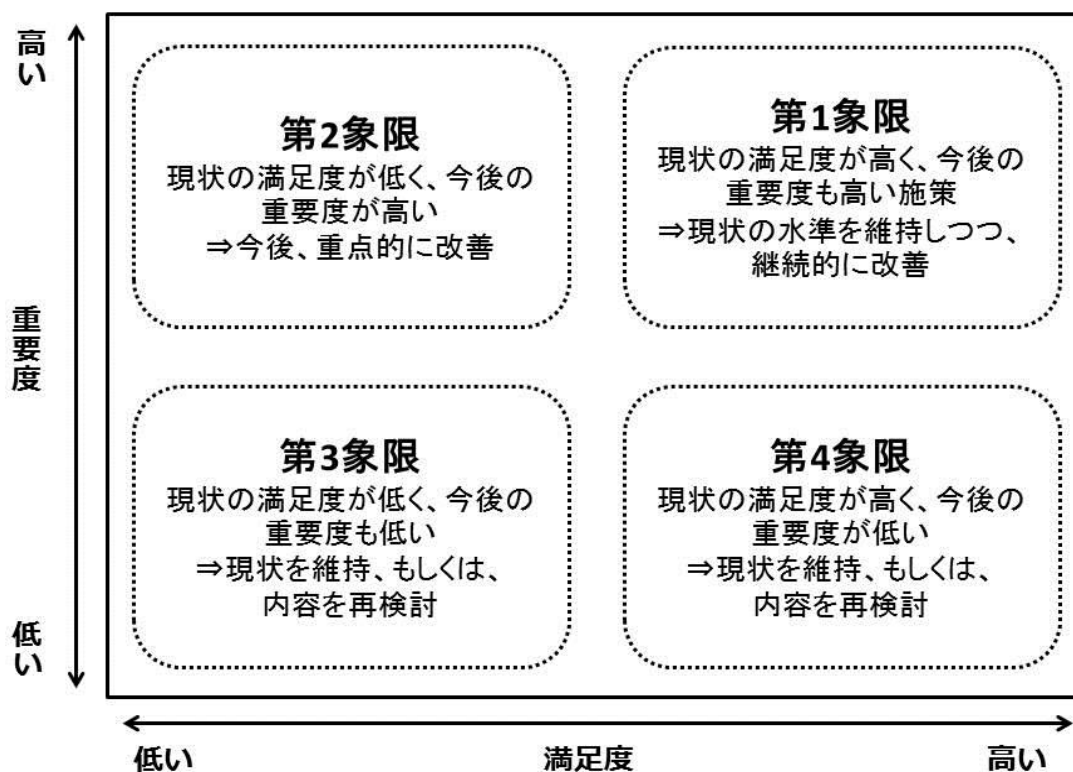
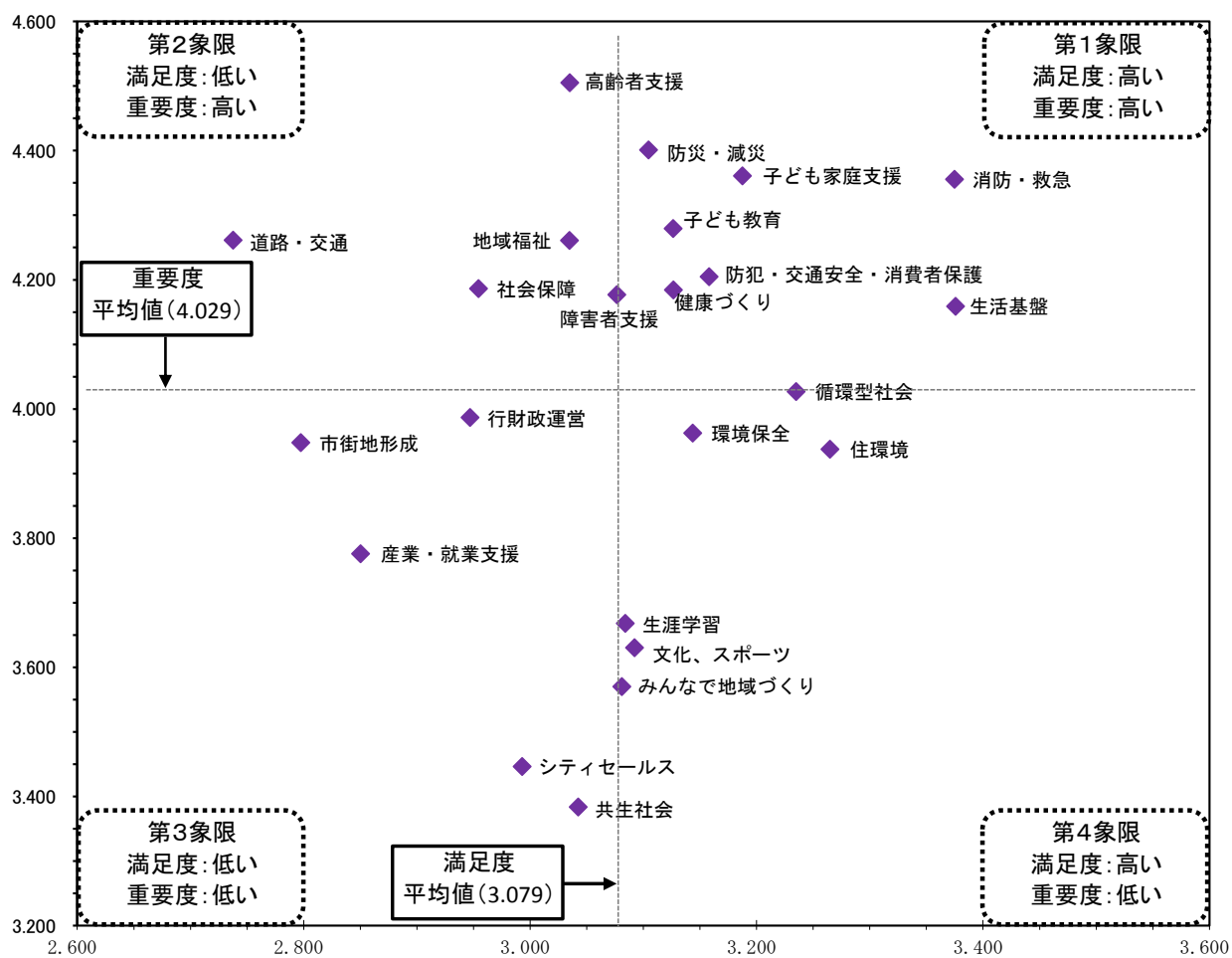


図 現在の満足度・今後の重要度に対する加重平均値



### (3) 結婚・出産・子育てについて

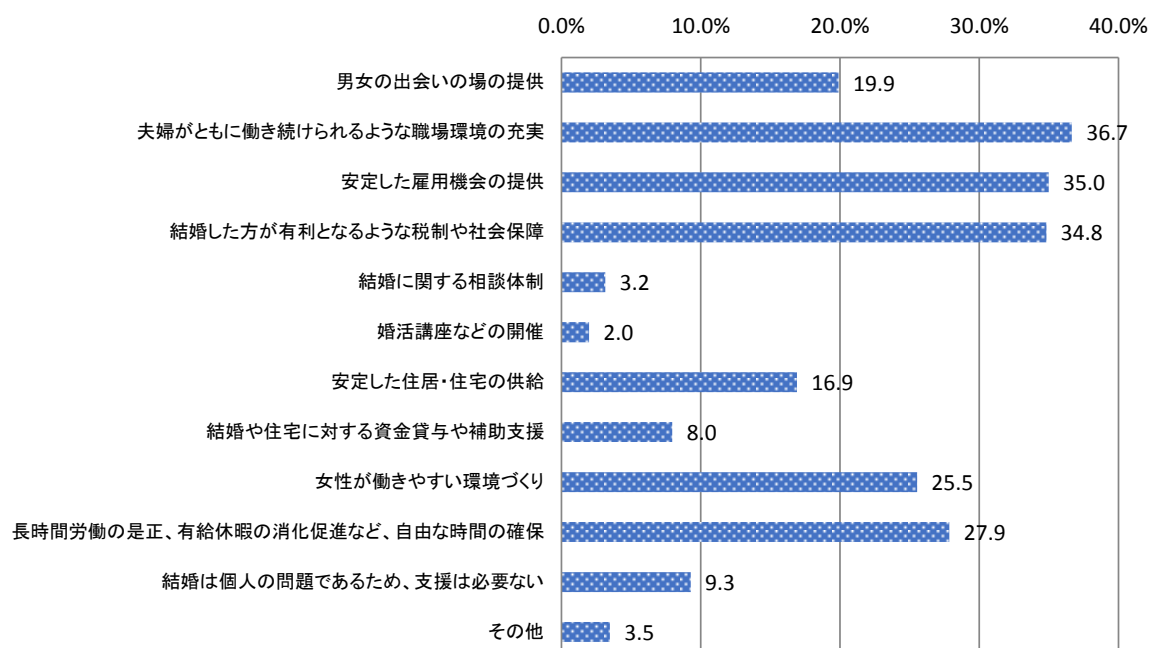
四街道市では、平成 27 年 7 月に 18～45 歳の市民 2,000 人を対象に、「結婚・出産・子育て、移住定住等に関する意識調査」を実施しています。(回収票 603 票)

#### ① 結婚支援ニーズ

(結婚しやすい、結婚したいと思える環境をつくるには、どのような支援が効果的か)

結婚しやすい、結婚したいと思える環境をつくるには、どのような支援が効果的だと思うかについては、「夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実」の 36.7%が最も多く、次いで「安定した雇用機会の提供」の 35.0%、「結婚したほうが有利となるような税制や社会保障」の 34.8%などとなっています。

支援内容	回答数	割合
男女の出会いの場の提供	120	19.9
夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実	221	36.7
安定した雇用機会の提供	211	35.0
結婚した方が有利となるような税制や社会保障	210	34.8
結婚に関する相談体制	19	3.2
婚活講座などの開催	12	2.0
安定した住居・住宅の供給	102	16.9
結婚や住宅に対する資金貸与や補助支援	48	8.0
女性が働きやすい環境づくり	154	25.5
長時間労働の是正、有給休暇の消化促進など、自由な時間の確保	168	27.9
結婚は個人の問題であるため、支援は必要ない	56	9.3
その他	21	3.5
無回答	64	10.6
回答者人数	603	

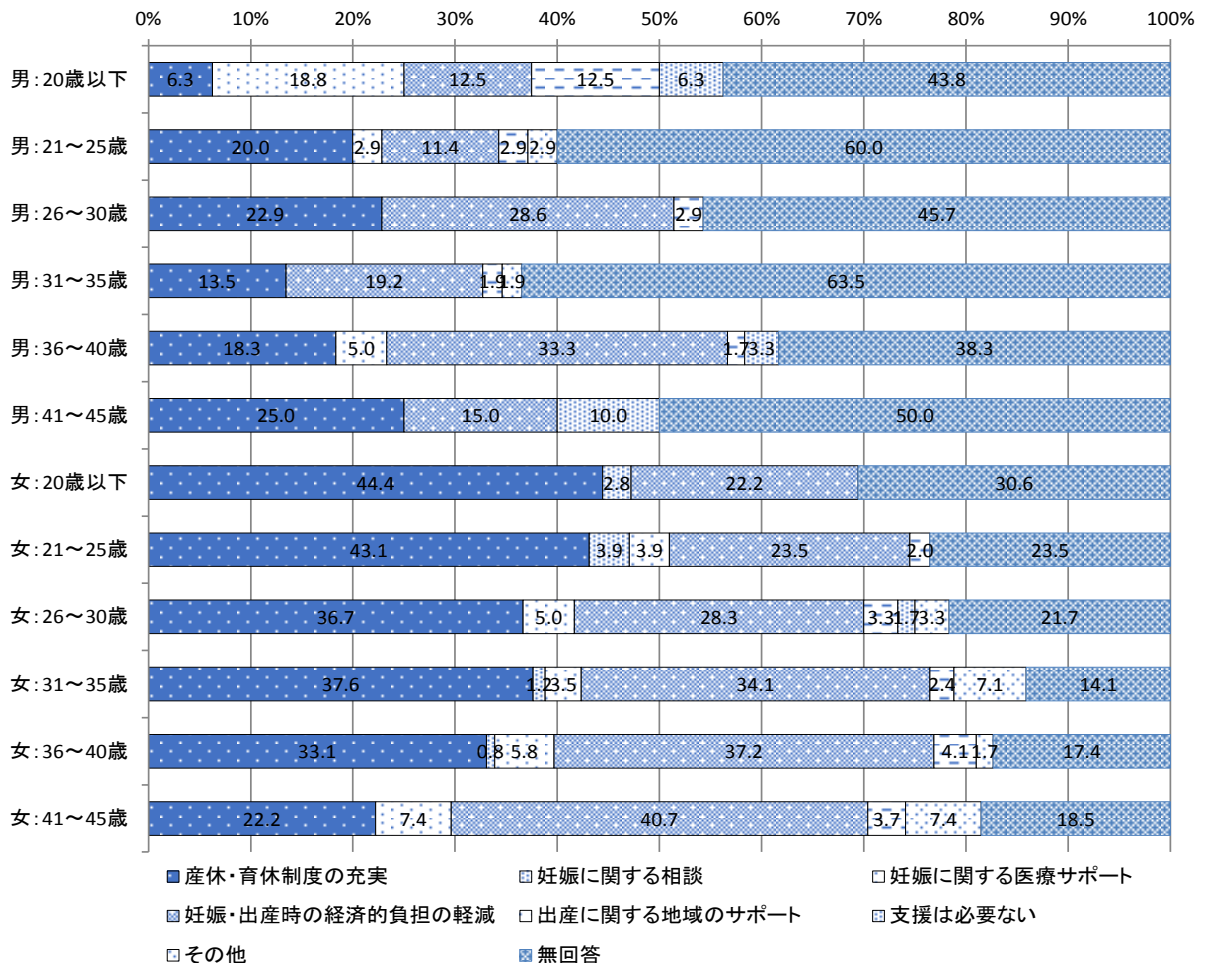
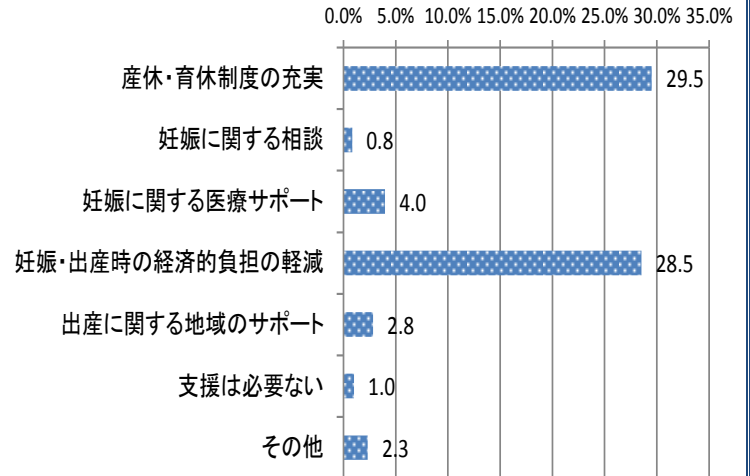


## ② 出産支援ニーズ

(出産しやすい環境づくりについて、どのような支援があればよいと思うか)

出産しやすい環境づくりにおいて、どのような支援があればよいと思うかについては、「産休・育休制度の充実」の29.5%が最も多く、次いで「妊娠・出産時の経済的負担の軽減」の28.5%、「妊娠に関する医療サポート」の4.0%などとなっています。若い世代の女性は、「産休・育休制度の充実」の支援を求めており、年齢が上がる、「妊娠・出産時の経済的負担の軽減」といった支援が求められています。

支援内容	回答数	割合
産休・育休制度の充実	178	29.5
妊娠に関する相談	5	0.8
妊娠に関する医療サポート	24	4.0
妊娠・出産時の経済的負担の軽減	172	28.5
出産に関する地域のサポート	17	2.8
支援は必要ない	6	1.0
その他	14	2.3
無回答	187	31.0
回答者人数	603	100.0



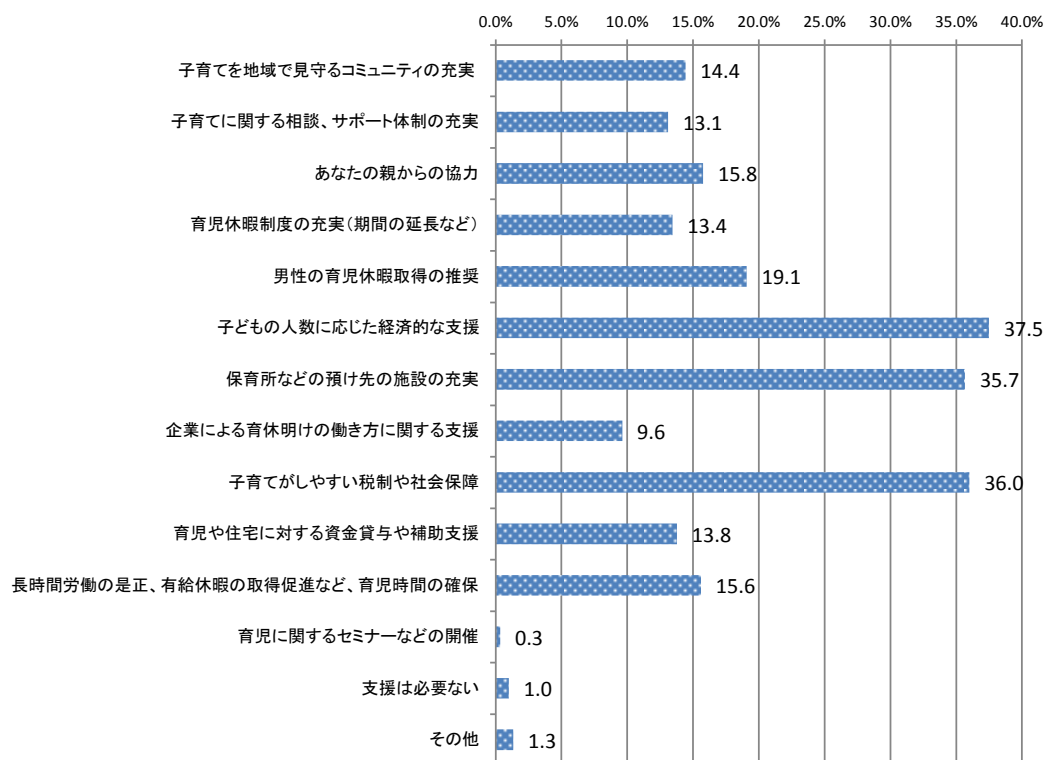


### ③ 子育て支援ニーズ

(子育てしやすい環境づくりについて、どのような支援があればよいと思うか)

子育てしやすい環境づくりについて、どのような支援があればよいと思うかに関しては、「子どもの人数に応じた経済的な支援」の37.5%が最も多く、次いで「子育てがしやすい税制や社会保障」の36.0%、「保育所や預け先の施設の充実」の35.7%などとなっています。

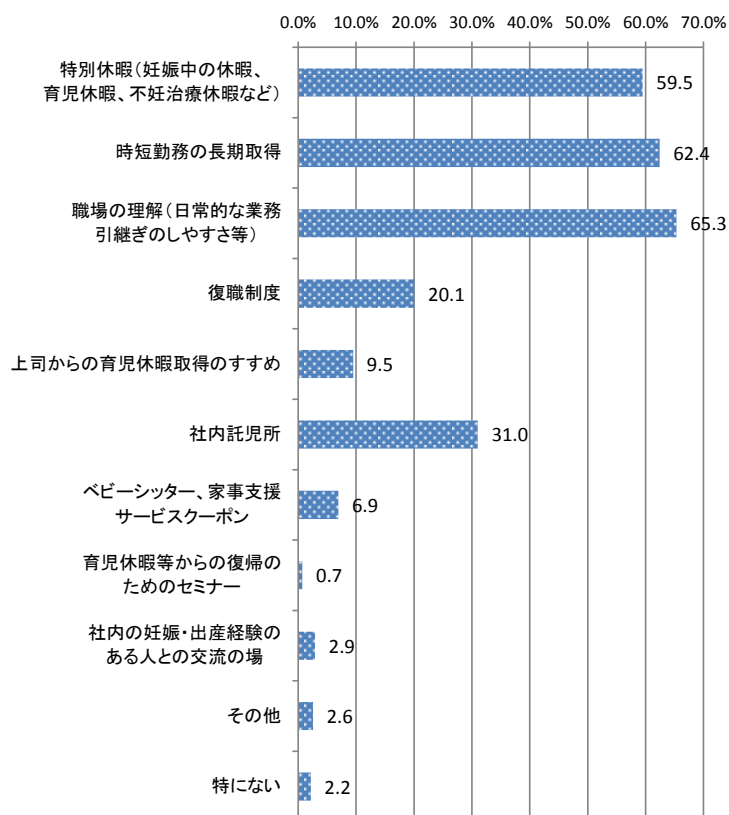
支援内容	回答数	割合
子育てを地域で見守るコミュニティの充実	87	14.4
子育てに関する相談、サポート体制の充実	79	13.1
あなたの親からの協力	95	15.8
育児休暇制度の充実(期間の延長など)	81	13.4
男性の育児休暇取得の推奨	115	19.1
子どもの人数に応じた経済的な支援	226	37.5
保育所などの預け先の施設の充実	215	35.7
企業による育休明けの働き方に関する支援	58	9.6
子育てがしやすい税制や社会保障	217	36.0
育児や住宅に対する資金貸与や補助支援	83	13.8
長時間労働の是正、有給休暇の取得促進など、育児時間の確保	94	15.6
育児に関するセミナーなどの開催	2	0.3
支援は必要ない	6	1.0
その他	8	1.3
無回答	116	19.2
回答者人数	603	



### (あなたが職場に求める出産・子育て支援の制度や取組は何か)

職場に求める出産・子育て支援の制度や取組については、「職場の理解(日常的な業務引継ぎのしやすさ等)」の65.3%が最も多く、次いで「時短勤務の長期取得」の62.4%、「特別休暇(妊娠中の休暇、育児休暇、不妊治療休暇など)」の59.5%などとなりました。

職場に求める支援内容	回答数	割合
特別休暇(妊娠中の休暇、育児休暇、不妊治療休暇など)	163	59.5
時短勤務の長期取得	171	62.4
職場の理解(日常的な業務引継ぎのしやすさ等)	179	65.3
復職制度	55	20.1
上司からの育児休暇取得のすすめ	26	9.5
社内託児所	85	31.0
ベビーシッター、家事支援サービスクーポン	19	6.9
育児休暇等からの復帰のためのセミナー	2	0.7
社内の妊娠・出産経験のある人との交流の場	8	2.9
その他	7	2.6
特にない	6	2.2
回答者人数	274	



#### (4) 定住について

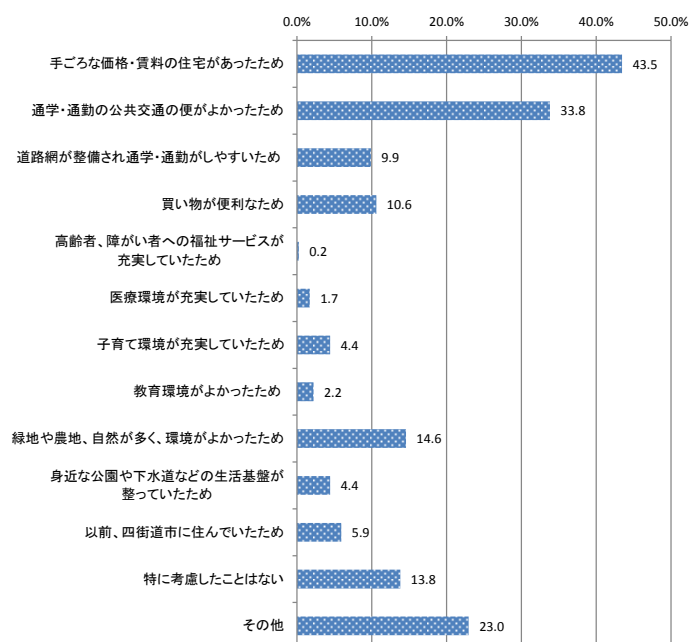
四街道市では、平成 27 年 7 月に 18～45 歳の市民 2,000 人を対象に、「結婚・出産・子育て、移住定住等に関する意識調査」を実施しています。(回収票 603 票)

##### ① 四街道市を選択した理由（市外から移り住んだと回答した方）

（あなたがお住まいとして四街道市を選ぶ際に考慮したことは何ですか）

四街道市を住まいとして選ぶ際に考慮したことについては、「手ごろな価格・賃料の住宅があったため」の 43.5%が最も多く、次いで「通学・通勤の公共交通の便がよかったため」の 33.8%、「緑地や農地、自然が多く、環境がよかったため」の 14.6%などとなっており、周辺市に比べ、手ごろな価格・家賃の住宅であることがわかる。また、千葉駅や首都圏への公共交通のアクセスの良さも周辺市に比べ、良いことが考えられます。

選んだ理由	回答数	割合
手ごろな価格・賃料の住宅があったため	176	43.5
通学・通勤の公共交通の便がよかったため	137	33.8
道路網が整備され通学・通勤がしやすいため	40	9.9
買い物が便利のため	43	10.6
高齢者、障がい者への福祉サービスが充実していたため	1	0.2
医療環境が充実していたため	7	1.7
子育て環境が充実していたため	18	4.4
教育環境がよかったため	9	2.2
緑地や農地、自然が多く、環境がよかったため	59	14.6
身近な公園や下水道などの生活基盤が整っていたため	18	4.4
以前、四街道市に住んでいたため	24	5.9
特に考慮したことはない	56	13.8
その他	93	23.0
無回答	196	48.4
回答者人数	405	

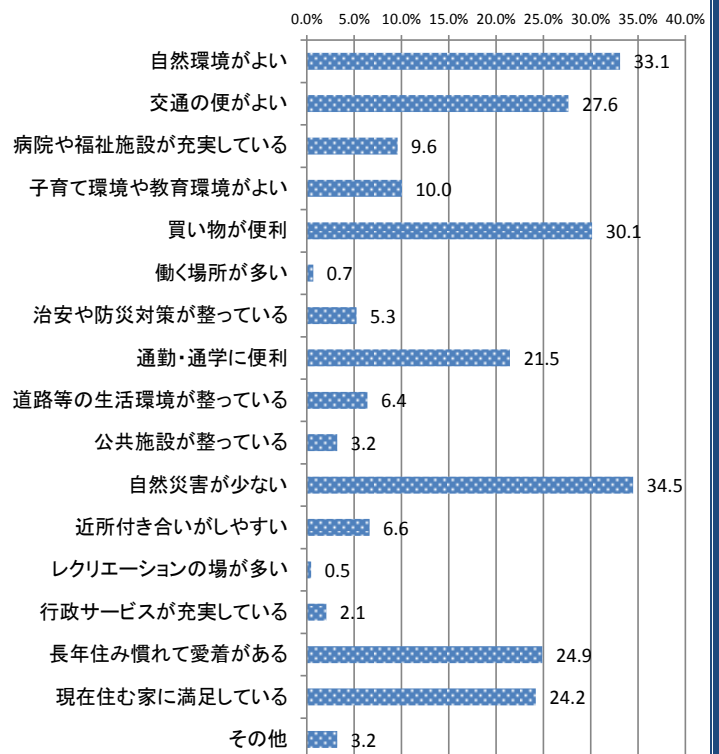


## ② 住みやすさ・住みにくさ（住みやすい・住みにくいと回答した方）

### （四街道市が住みやすい理由は何ですか）

四街道市が住みやすい理由については、「自然災害が少ない」の34.5%が最も多く、次いで「自然環境がよい」の33.1%、「買い物が便利」の30.1%などとなっています。居住年数別で見ると、居住年数が浅い方は、「子育て環境や教育環境がよい」、「通勤・通学に便利」といった転入する際に考慮した点と同様の傾向となり、長年暮らしている方は「長年住み慣れて愛着がある」や「近所の付き合いがしやすい」といった地域のコミュニティを重視している傾向が見受けられます。

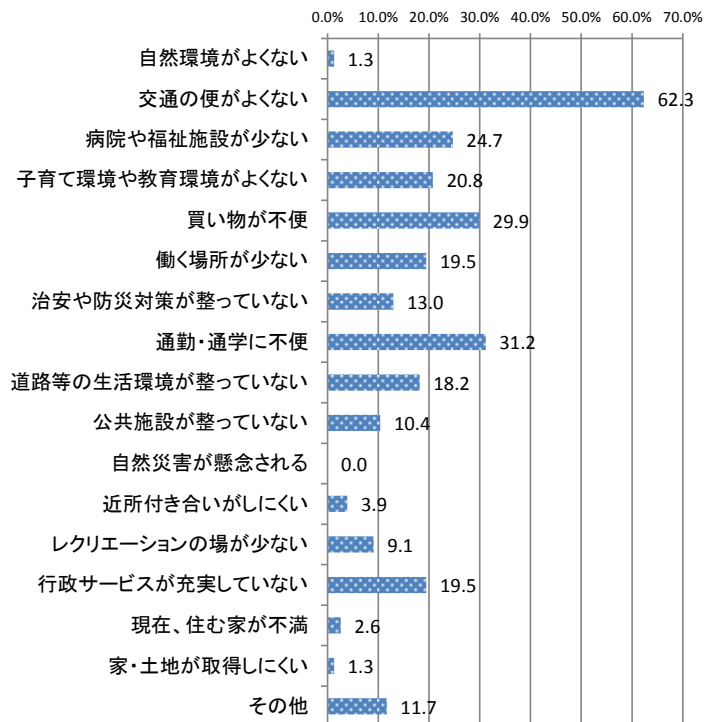
住みやすい理由	回答数	割合
自然環境がよい	145	33.1
交通の便がよい	121	27.6
病院や福祉施設が充実している	42	9.6
子育て環境や教育環境がよい	44	10.0
買い物が便利	132	30.1
働く場所が多い	3	0.7
治安や防災対策が整っている	23	5.3
通勤・通学に便利	94	21.5
道路等の生活環境が整っている	28	6.4
公共施設が整っている	14	3.2
自然災害が少ない	151	34.5
近所付き合いがしやすい	29	6.6
レクリエーションの場が多い	2	0.5
行政サービスが充実している	9	2.1
長年住み慣れて愛着がある	109	24.9
現在住む家に満足している	106	24.2
その他	14	3.2
無回答	4	0.9
回答者人数	438	



### (四街道市が住みにくい理由は何ですか)

四街道市が住みにくい理由としては、「交通の便がよくない」の 62.3%が最も多く、次いで「通勤・通学に不便」の 31.2%、「買い物に不便」の 29.9%などとなっている。20 年以上居住している方は、「交通の便がよくない」や「働く場所が少ない」「道路等の生活環境が整っていない」といった生活面の課題が挙げられています。

住みにくい理由	回答数	割合
自然環境がよくない	1	1.3
交通の便がよくない	48	62.3
病院や福祉施設が少ない	19	24.7
子育て環境や教育環境がよくない	16	20.8
買い物が不便	23	29.9
働く場所が少ない	15	19.5
治安や防災対策が整っていない	10	13.0
通勤・通学に不便	24	31.2
道路等の生活環境が整っていない	14	18.2
公共施設が整っていない	8	10.4
自然災害が懸念される	0	0.0
近所付き合いがしにくい	3	3.9
レクリエーションの場が少ない	7	9.1
行政サービスが充実していない	15	19.5
現在、住む家が不満	2	2.6
家・土地が取得しにくい	1	1.3
その他	9	11.7
無回答	2	2.6
回答者人数	77	



## (5) 転入者について

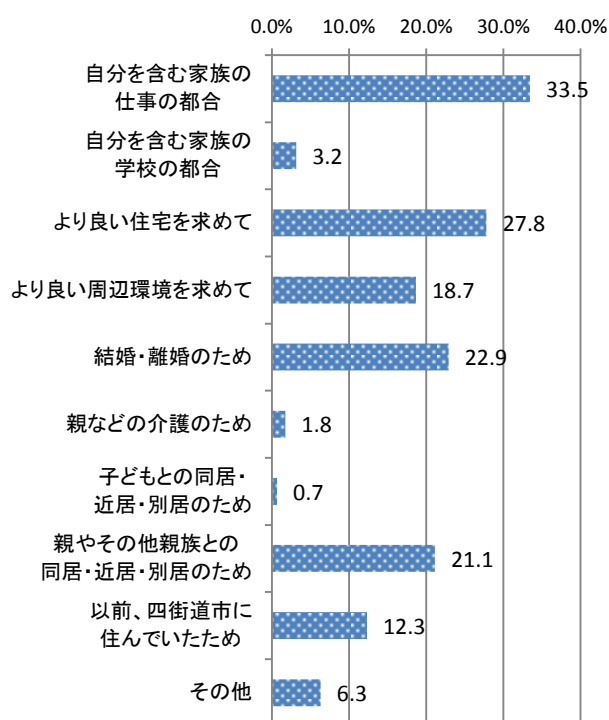
四街道市では、平成 27 年7月に四街道市への転入者 1,000 人を対象に、「四街道市への転入に関する意識調査」を実施しています。(回収票 284 票)

### ① 転入のきっかけ

(四街道市に転入されることになった最も大きなきっかけは何ですか)

四街道市に転入することになったきっかけについては、「自分を含む家族の仕事の都合」の 33.5%が最も多く、次いで「より良い住宅を求めて」の 27.8%、「結婚・離婚のため」の 22.9%などとなっています。

きっかけ	回答数	割合
自分を含む家族の仕事の都合	95	33.5
自分を含む家族の学校の都合	9	3.2
より良い住宅を求めて	79	27.8
より良い周辺環境を求めて	53	18.7
結婚・離婚のため	65	22.9
親などの介護のため	5	1.8
子どもとの同居・近居・別居のため	2	0.7
親やその他親族との同居・近居・別居のため	60	21.1
以前、四街道市に住んでいたため	35	12.3
その他	18	6.3
無回答	1	0.4
回答者人数	284	

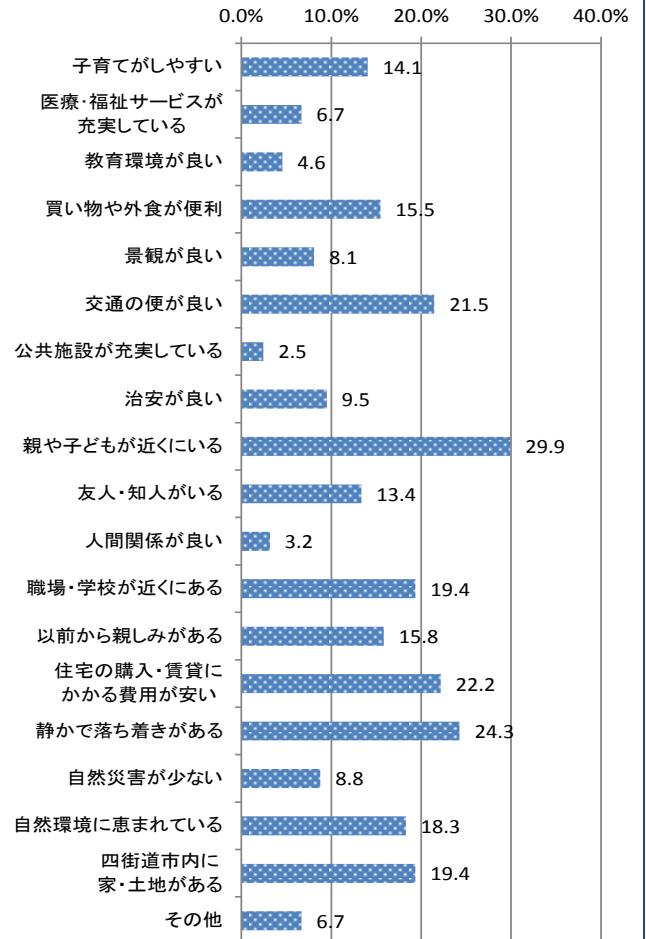


## ② 四街道市を選択した理由

### (四街道市を選ばれた理由・イメージについて)

居住地として四街道市を選んだ理由としては、「親や子どもが近くにいる」の 29.9%が最も多く、次いで「静かで落ち着きがある」の 24.3%、「交通の便が良い」の 21.5%などとなっております。静かで交通の便が良い居住地であると考えられます。

理由	回答数	割合
子育てがしやすい	40	14.1
医療・福祉サービスが充実している	19	6.7
教育環境が良い	13	4.6
買い物や外食が便利	44	15.5
景観が良い	23	8.1
交通の便が良い	61	21.5
公共施設が充実している	7	2.5
治安が良い	27	9.5
親や子どもが近くにいる	85	29.9
友人・知人がいる	38	13.4
人間関係が良い	9	3.2
職場・学校が近くにある	55	19.4
以前から親しみがある	45	15.8
住宅の購入・賃貸にかかる費用が安い	63	22.2
静かで落ち着きがある	69	24.3
自然災害が少ない	25	8.8
自然環境に恵まれている	52	18.3
四街道市内に家・土地がある	55	19.4
その他	19	6.7
無回答	5	1.8
回答者人数	284	



## (6) 転出者について

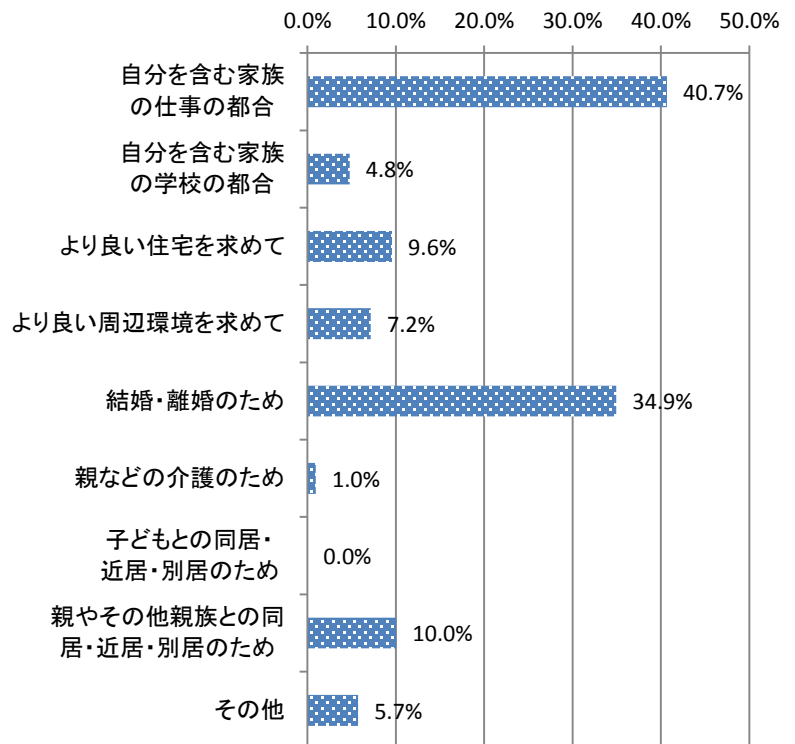
四街道市では、平成 27 年 7 月に四街道市からの転出者 1,000 人を対象に、「四街道市からの転出に関する意識調査」を実施しています。(回収票 209 票)

### ① 転出のきっかけ

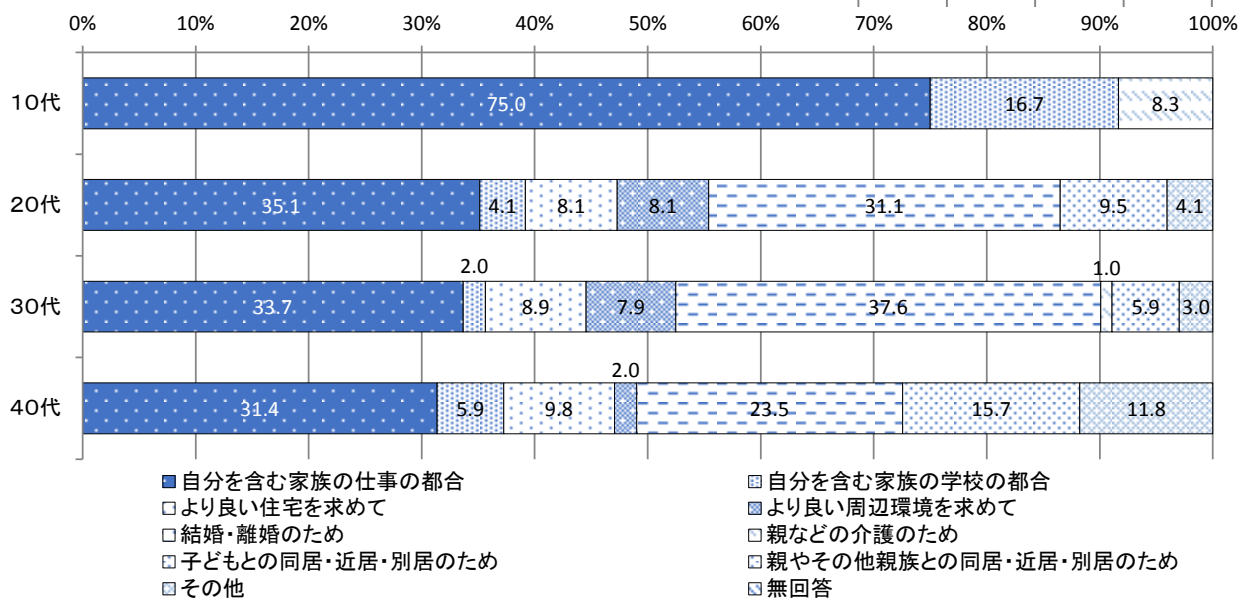
(四街道市から転出されることになった最も大きなきっかけは何ですか)

転出することになったきっかけとしては、「自分を含む家族の仕事の都合」の 40.7%が最も多く、次いで「結婚・離婚のため」の 34.9%などとなっている。「より良い住宅を求めて」が 9.6%となっており、ライフスタイルの変化による転出が多いと考えられます。

きっかけ	回答数	割合
自分を含む家族の仕事の都合	85	40.7
自分を含む家族の学校の都合	10	4.8
より良い住宅を求めて	20	9.6
より良い周辺環境を求めて	15	7.2
結婚・離婚のため	73	34.9
親などの介護のため	2	1.0
子どもとの同居・近居・別居のため	0	0.0
親やその他親族との同居・近居・別居のため	21	10.0
その他	12	5.7
無回答	0	0.0
回答者人数	209	



【年代別 転出のきっかけ】



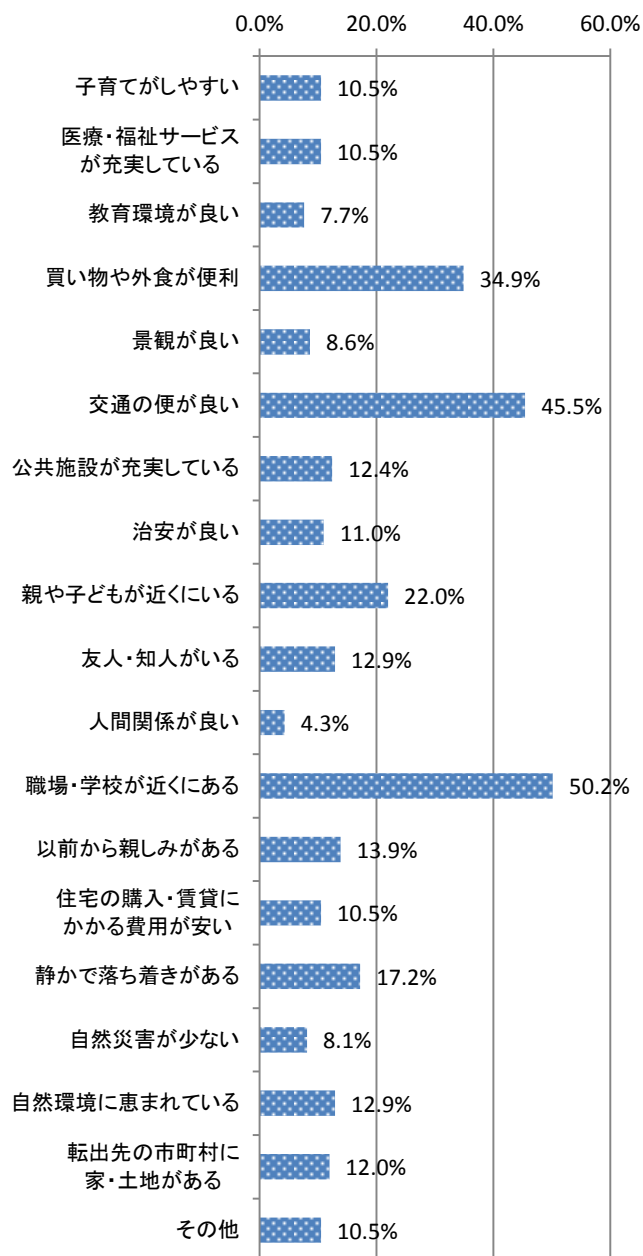


## ② 転出先の市町村を選択した理由

(居住地として、転出先の市町村を選ばれた理由について)

居住地として、転出先の市町村を選んだ理由としては、「職場・学校が近くにある」の50.2%が最も多く、次いで「交通の便が良い」の45.5%、「買い物や外食が便利」の34.9%などとなっており、通勤・通学のために勤務地・通学先から近く、交通の便の良いところを求めて転出している傾向が見受けられます。

理由	回答数	割合
子育てがしやすい	22	10.5
医療・福祉サービスが充実している	22	10.5
教育環境が良い	16	7.7
買い物や外食が便利	73	34.9
景観が良い	18	8.6
交通の便が良い	95	45.5
公共施設が充実している	26	12.4
治安が良い	23	11.0
親や子どもが近くにいる	46	22.0
友人・知人がいる	27	12.9
人間関係が良い	9	4.3
職場・学校が近くにある	105	50.2
以前から親しみがある	29	13.9
住宅の購入・賃貸にかかる費用が安い	22	10.5
静かで落ち着きがある	36	17.2
自然災害が少ない	17	8.1
自然環境に恵まれている	27	12.9
転出先の市町村に家・土地がある	25	12.0
その他	22	10.5
無回答	5	2.4
回答者人数	209	



### ③ 将来のUターンについて

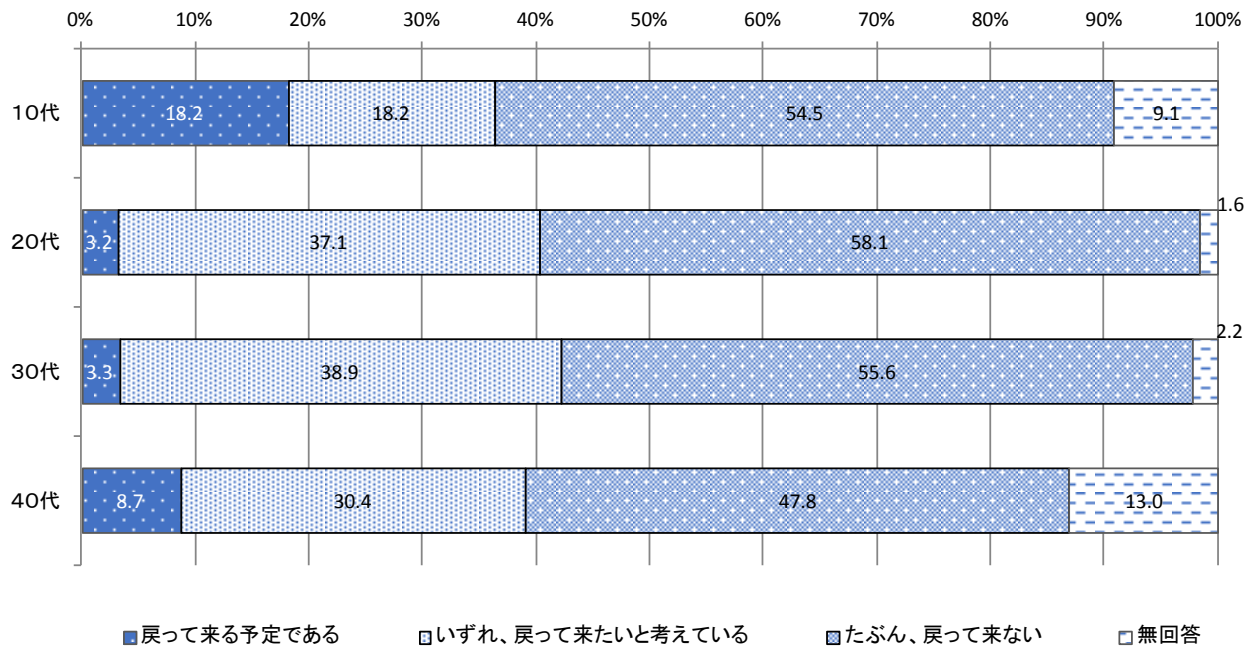
#### (将来、四街道市に戻ってきたいと思いますか)

将来、四街道市に戻って来たいと思うかについては、「たぶん戻って来ない」の 55.0%が最も多く、次いで「いずれ戻って来たいと考えている」の 35.9%、「戻って来る予定である」の 5.3%となっています。「戻って来る予定」、「いずれ戻って来たいと考えている」を合わせると 41.2%となり、回答者の4割は戻ってくる可能性があります。

戻りたいか	回答数	割合
戻って来る予定である	11	5.3
いずれ、戻って来たいと考えている	75	35.9
たぶん、戻って来ない	115	55.0
無回答	8	3.8
回答者人数	209	100.0



#### 【年代別 今後の予定について】



— × 毛 —

